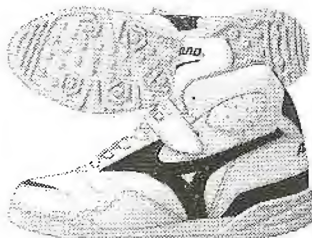
MIZUNO®
THE WORLD OF SPORTS

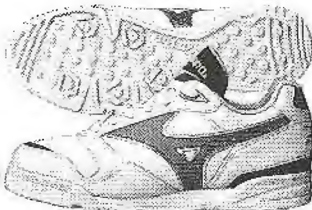
UNIVERSIADE '95 FUKUOKA
©FUOC-S103
Official Supplier

軽さが進化したニューラインアップ。





通気性と防水性が合体した
ニューエアリー採用。
ウィングゾーン OD-L ¥11,000
16KH-40109 サイズ：23.0〜29.0
ホワイト/パープルにブラック/ゴールド 他1色
●甲：人工皮革 ●底：ゴム、合成樹脂 SORBOTHANE



アウトドア専用のグリップ性能。
ウィングゾーン OD-S ¥7,900
16KH-41162 サイズ：23.0〜29.0
ホワイト/ネイビーにレッド/シルバー 他1色
●甲：人工皮革 ●底：ゴム、合成樹脂 SORBOTHANE

攻守に、弾む。ハンドボール協会公認の検定球、準検定球。



16OH-202
¥4,700
検定球
天然皮革2号
HL-2



16OH-203
¥4,800
検定球
天然皮革3号
HL-3



16OH-212
¥4,400
準検定球
天然皮革2号
HL-2A





●記載価格はすべて税抜き価格です。消費税相当額はお客様にご負担いただくことになります。
●ミズノ製品についてのお問い合わせ・ご相談は——「ミズノお客様商品相談センターMUSIC」 TEL：東京(03)3233-7110 大阪(06)614-8110

日本協会だより

平成7年度5月度常務理事会

日　時　5月27日10時30分～17時

会　場　東京都体育館第3、4研修室

出席者　中澤専務理事、佐野監事、常務理事5名、合計7名

●**議題**

一　登録関係について

個人登録、チーム登録に関して審議した。登録抹消から追加登録までの期間設定について合意を得るべく、加盟団体と早急に協議し細則を設けることとした。

外国選手の登録は、平成7年度は試合エントリー3名、平成8年度は2名とすることで検討すると了解されていたが、平成8年度も引き続き3名エントリーとする提案があった。本件は継続審議とすることとした。

二　大阪国体リハーサル大会は社会人大会とする提案がなされた。クラブ大会はリージョナル登録の大会とする案で検討委員会を編成することとなった。参加資格については今後検討することとした。

三　各種規程の検討について

継続審議とした。

四　各種委員会委員の選出について

日本リーグ、強化、スポーツ医科学、国際、財務会計、指導普及、審判の各委員会案を承認した。

五　平成6年度決算について

担当理事の要望が述べられ、継続審議となった。

六　平成7年度補正予算について

早急に立案できるよう関係方面に要請があり、継続審議とした。

七　97世界選手権関連事項について

1)　組織委員会等各委員会について

名簿案が示された。委員は職務委員となる部署もあり、将来的には一部変更があることが示された。

2)　本年度開催国内国際大会について

広島国際、サマーカップ熊本大会の詳細報告があった。

3)　開催資金、財源について

日本協会としての検討も細分化されることから、関係方面の調整を密にしていくことが申し合わされた。

4)　選手強化関連事項について

平成7年度男女ナショナルチームの基本方針、重点施策、活動計画の説明がなされ、合わせて強化予算案が示され承認された。

以上

CONTENTS

【表紙】世界選手権大会で7MTを放つ三輪選手

特集　第14回男子世界選手権大会

フランスが初の栄冠！

2位は大健闘のクロアチア／日本、決勝トーナメント進出ならず

　第14回男子世界選手権大会はアイスランドのレイキャビックを中心にコパヴォーゲル、ハプナルフィヨルズール、アクレイリ市の4会場において史上初めての24チームが参加して行われた。

　4グループ各6チームに分かれて予選リーグが行われ、各グループ上位4チームが決勝トーナメントに進出。日本はC組で善戦したものの5戦5敗でC組最下位となり、決勝トーナメントへは残念ながら進めなかった。

　C組3位でやや予選リーグ不調のフランスであったが、地力を発揮。前回2位の実績にものを言わせ、決勝でクロアチアを破り初優勝した。

　大会には名誉ゲストとしてIOC・サマランチ会長も5月8日に試合を観戦した。

　なお、本大会は1996年アトランタオリンピックの出場権争いも兼ねていて、7位までのチームがアトランタ行きの切符を獲得した。8番目はオリンピックホスト国のアメリカとなり、残り4チームはアフリカ、アジア、ヨーロッパ、パンアメリカンより各々1チームを選ぶことになる。

この悔しさを9月の予選に…

全日本チーム監督　蒲生　晴明

　昨年9月に1997年熊本世界選手権大会の開催が決定し、12月のアジア地区第3代表決定戦では、何としても出場しなければならなかった。幸い日本リーグの日程を変更していただくことにより、我々全日本チームの活動が可能になって、結果としてサウジアラビアに勝つことができた。同時に95アイスランド世界選手権出場権を獲得したわけだが、関係各方面の方々に深くお礼申し上げたい。

　今回は、この世界選手権に出場し、7位以内入賞（アトランタオリンピック出場権）を目標に掲げた。遠征出発前には、熊本の関係の方々には多大なご厚情をいただき、また、日本リーグ各チームの関係の方々にもバックアップしていただきましてありがとうございました。

●ヨーロッパ遠征と世界選手権について

　今回の遠征は、世界を相手にするわけなので、ヨーロッパ各国の2メートル、100キロの選手に慣れることも合わせて、世界選手権の1カ月前から遠征合宿に出向いた。公式国際試合を含め9ゲームを消化して、世界選手権に入る計画を立てた。

　ヨーロッパでのトレーニングとテストマッチでは、予想以上にハードなゲームとなり、遠征当初は、時差の解消も相まって、満足する結果が得られなかった。しかし、日本チームとしては、内容的に十分ではないものの少しずつコンディショニング、コンビネーションがとれるようになっていった。世界選手権のゲームの結果については、以下に述べるが、現在のヨーロッパ各国のハンドボールの特徴として、次の3点が挙げられる。当然、これに対する対応が世界を相手にするためには必要であり、実現せねばならない。

(1)　以前より以上に大型化が進んでおり、スピードプレーをする。

(2)　各プレーがよりアグレッシブになってきている（テクニック&パワー）。

(3)　ディフェンス戦術として、3〜4システムを使い分けている（相手攻撃を撹乱）。

●反省と課題について

　今回は、1カ月間のヨーロッパトレーニングを計画し実施したが、世界選手権までに国際親善試合などを消化することにより、得ることも多かったが、逆にマイナス面も出てきた。

　世界選手権までの身体的コンディションづくりとしては、ここ数年にないくらいの最高の状態であった。実際に、ほとんど負傷選手は出てこなかった。このことは、スポーツ医科学委員会のご指導による選手たちの体力アップとドクター、トレーナーの方々の的確な処置によることが大変に大きく、また効果的にタイムリーに実施されたからであり、お礼申し上げたい。し

かしながら、長期に及ぶ遠征に対して、精神的な疲労が蓄積されたことも事実であり、世界選手権までのコンセントレーションが持続できない選手も中に出てきていた。したがって、いよいよ世界選手権の予選リーグがはじまったが、ゲームを通じて良い状態が続くことが短く、悪い状態でのパフォーマンスを繰り返すことが多く見られた。

通常であると悪い状態をいちはやく感じ取り、好転させているわけであるが、好転するのにかなりの時間がかかっていた。原因分析はまだ十分行っていないが、大きな原因としては、シュート成功率が低位であると言うことが結果から言える。世界選手権出場国のシュート成功率を見ると最低50%を超えているけれども、日本は43%と低い。この原因としては、良い状態でシュートを打てていないということと、根本的なシュート力の差が原因であり、多くある今後の課題の中の最重要課題である。まだまだいろいろな要素があると思うが、できる限り早く分析し、次のアジア選手権兼アトランタオリンピック・アジア予選に向けての対策を立てていきたい。

●おわりに

97熊本世界選手権の日本招致が決定していることにより、日本ハンドボール界の大きな期待がある中で、今回の成績は不本意な結果であり、反省するところが大きい。けれども9月のアトランタオリンピック予選に向けて、この世界選手権の経験は金では買えない重要なものであり、必ず生きるものであるし、生かしていかねばならないと肝に銘じている。

今後とも変わらぬご支援をお願いしたい。

チームドクターの目から見た日本チーム

スポーツ医科学委員会　加藤　公



今大会は、日本チームの選手のコンディションという意味では、鼻骨骨折、顔面挫創などはあったものの、遠征から大会期間を通じて大きな故障もなく、体調も良好であった。また、2度のドーピング検査があり、私も同行したが、問題なくパスした。

一方、試合は5戦5敗と残念な結果に終わった。しかし、昨年の遠征の時に比べ、からだの大きなヨーロッパ勢にスピードとからだの切れで対抗し、対等以上に戦っている場面も多く見られた。

このことは、大会に入る前に3週間を超えるヨーロッパ遠征が行われ、時差や食生活をはじめとする生活習慣や日本と全く違う試合の雰囲気や審判の判定などになじんできた成果であろう。そして、日本のハンドボールが世界レベルに近づくためには少しでも多く本場のチームとの試合をする機会を作るという方針が正しいことを再認識させられた。

では、今一歩、勝利をつかめなかった理由は何であろうか。メディカルスタッフの目で見た感想を述べたい。

①新しい傷害や病気はなくとも、以前からの故障をもった選手が多く、フル出場できない状態が選手層の薄さとしてあらわれた。

②からだの大きなチームと戦うには、速い動きが一試合を通じて持続的に必要であるにもかかわらず、途中、集中力が切れてしまうように見受けられた。

以上二点が問題のように思われた。①については、選手個人の不安をなくす精神的ささえとなる意味でも、ドクター間で選手の故障の状態、検査結果などの医療情報の相互交換の必要性を痛感した。②の心理的アプローチに関しては、以前より指摘されていることであるが、ゲームを多く経験し、国際試合に慣れる必要性があると思われた。

今大会は不本意な結果ではあったが、決して悲観的なものではなく、この経験をステップとして来るべきアジア選手権に向かって進んでくれるという印象を得た。

世界選手権大会に出場して

全日本チーム主将　橋本　行弘

●出場権獲得からのトレーニング

昨年暮れの12月30日にアジア大陸第3代表の切符を賭けたサウジアラビアとのゲームに勝ち、世界選手権出場の切符を得たことで、チームのスローガンを「GET　TO　TICKET　FOR　ATLANTA」に置き換え、今年の目標を「世界選手権大会7位入賞」「アジア選手権金メダル」の2本柱で強化して行く方針が整った。

その1回目のトライアルである世界選手権大会7位入賞へ向け、我々の強化トレーニングは対アジアではなく、対ヨーロッパへと視線を変える必要があった。身長で10～20センチ、体重で10～20キロ大きく重たい選手に対し、我々が勝機を見出して行くための指向重点項目も打ち出し、時差や歓声、フォーメーションの厳選から意志統一、各自のコンディションづくりに至るまで、大会で予想されるさまざまな出来事に対してのトレーニングを全て終え日本を出発した。



熱戦相次ぎ盛り上がった閉会式となった

●大会までのチームの動向

我々は世界選手権の1カ月前に日本を立ち、時差調整とこちらでの習慣や食事に慣れると共に、対ヨーロッパの選手に国内で積み上げてきたトレーニングがどれくらい通じるかを見極めることを行った。

体調などコンディションについては、各自が注意と管理を行い、問題なく大会を迎えることが出来たが、トレーニングゲームではやってきたことがなかなか結果につながらず、前半互角に戦っても、後半一方的に離されるなど、国内でのトレーニングでは場面想定出来ない、しかもゲームでしか体験出来ない状況に何度となく遭遇し、その都度対応を図ることも行ったが、充分な手ごたえを得るところまでチームを持って行くことは出来なかった。

●大会を振り返って

日本は予選Cグループに入り、フランス、ドイツ、アルジェリア、ルーマニア、デンマークと戦った訳だが、結果的に1勝もすることが出来ず、予選グループ敗退という形で終わった。個人的には予選グループ5試合でのデータでトップキーパーの上位に名を連ねることが出来たが、その反面、トップサスペンション（警告退場）欄にも日本の選手が名をのせるなど、ヨーロッパ選手に100%の力を出させない様にいろいろなディフェンスシステムを試みたが、最後には相手に振り回され、退場させられ、そのアヘッドを克服するためにGKを含めたディフェンスで防戦する時間が長くなったことが一番の敗因ではないだろうか。

私自身、90年のチェコスロバキアで開催された第12回大会に続き2度目の世界選手権出場だが、世界のハンドボールがより大型化し、よりスピーディーに、よりアグレッシブに変化しつつあることを痛感した。

今後、日本が世界を相手に戦って行く上で、体力をつけることはもちろんだが、各自がモチベーションを強く持ち、そのモチベーションを対戦間別に、また選手個人別に発揮出来るチームに仕上げることが日本の勝機への大きな要因となると私は考えます。

今回「GET　TO　TICKET　FOR　ATLANTA」の1回目のトライアルである「世界選手権大会7位入賞」には手が届かなかったが、9月25日からクウェートで開催される「アジア選手権大会金メダル」を目指し、残り4ケ月間を選手・スタッフとも全力で挑戦するつもりです。応援宜しくお願い致します。

Aグループ	ゲーム	勝	引分	負	総得点	総失点	ポイント
スイス	5	5	0	0	133	103	10
韓国	5	4	0	1	140	112	8
アイスランド	5	3	0	2	119	107	6
チュニジア	5	2	0	3	110	125	4
ハンガリー	5	1	0	4	119	121	2
アメリカ	5	0	0	5	82	135	0

Bグループ	ゲーム	勝	引分	負	総得点	総失点	ポイント
クロアチア	5	4	0	1	140	119	8
ロシア	5	4	0	1	112	96	8
チェコ	5	4	0	1	121	111	8
キューバ	5	2	0	3	136	132	4
スロベニア	5	1	0	4	131	126	2
モロッコ	5	0	0	5	93	149	0

Cグループ	ゲーム	勝	引分	負	総得点	総失点	ポイント
ドイツ	5	5	0	0	128	93	10
ルーマニア	5	3	0	2	121	121	6
フランス	5	3	0	2	122	108	6
アルジェリア	5	2	0	3	103	113	4
デンマーク	5	2	0	3	126	117	4
日本	5	0	0	5	101	149	0

Dグループ	ゲーム	勝	引分	負	総得点	総失点	ポイント
スウェーデン	5	5	0	0	151	114	10
スペイン	5	4	0	1	123	104	8
エジプト	5	3	0	2	111	106	6
ベラルーシ	5	2	0	3	154	125	4
クウェート	5	1	0	4	85	131	2
ブラジル	5	0	0	5	96	140	0

予選リーグ結果



■Cグループ

フランス	33－20	日本
ドイツ	27－19	ルーマニア
アルジェリア	25－24	デンマーク
フランス	23－21	アルジェリア
ドイツ	30－19	日本
デンマーク	28－24	ルーマニア
アルジェリア	20－18	日本
ドイツ	24－18	デンマーク
ルーマニア	23－22	フランス
ドイツ	24－15	アルジェリア
ルーマニア	31－22	日本
フランス	22－21	デンマーク
デンマーク	36－21	日本
ドイツ	23－22	フランス
ルーマニア	24－22	アルジェリア

■Aグループ

スイス	26－22	チュニジア
韓国	29－26	ハンガリー
アイスランド	27－16	アメリカ
ハンガリー	26－14	アメリカ
スイス	25－22	韓国
アイスランド	25－21	チュニジア
スイス	28－15	アメリカ
韓国	33－18	チュニジア
アイスランド	23－20	ハンガリー
スイス	30－23	ハンガリー
韓国	26－23	アイスランド
チュニジア	24－17	アメリカ
スイス	24－21	アイスランド
韓国	30－20	アメリカ
チュニジア	25－24	ハンガリー

■Dグループ

スウェーデン	29－28	ベラルーシ
スペイン	24－21	クウェート
エジプト	32－20	ブラジル
スペイン	30－27	ベラルーシ
スウェーデン	29－21	ブラジル
エジプト	10－0	クウェート
ベラルーシ	34－21	ブラジル
スウェーデン	37－22	クウェート
スペイン	27－20	エジプト
ベラルーシ	39－18	クウェート
スウェーデン	33－22	エジプト
スペイン	21－13	ブラジル
クウェート	24－21	ブラジル
スウェーデン	23－21	スペイン
エジプト	27－26	ベラルーシ

■Bグループ

ロシア	21－17	キューバ
チェコ	25－16	モロッコ
クロアチア	26－24	スロベニア
チェコ	29－26	キューバ
ロシア	27－22	スロベニア
クロアチア	33－21	モロッコ
キューバ	34－26	スロベニア
チェコ	27－25	クロアチア
ロシア	22－15	モロッコ
チェコ	23－22	スロベニア
クロアチア	25－20	ロシア
キューバ	34－25	モロッコ
スロベニア	37－16	モロッコ
クロアチア	31－27	キューバ
ロシア	22－17	チェコ

ランニングスコア

【図表の見方】

- 「フランス33(17-6)20日　本」の下の数字：上段の１から33はフランスの得点。下段は得点と得点者名。
- 攻撃内容：6mエリアシュートはポストシュート
  - ：9mラインシュートはロングシュート
  - ：FB(Fastbreak)は速攻
  - ：BT(Breakthrough)はカットインプレイ
- 「Japan→」は日本が攻めた方向で得点数
- 9mラインと6mラインの数字はカットインシュートの得点数
- 7mラインの横の数字は7mスロー
- 9mラインの外側の数字はロングシュート
- コート図中のBTとFBを合計した数字が得点数
- FB得点はポジションの特定はない

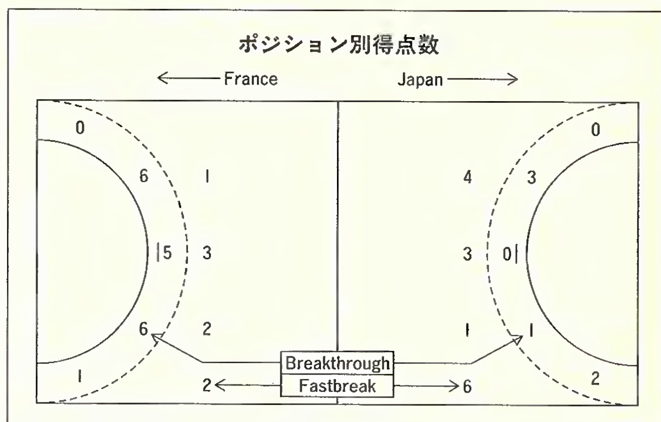
フランス　33(17－6)20　日　本

フランス	1 2 3 4		5		6 7 8		9 10 11 12 13 14		15 16		17
日本		1		2		3		4		5 6	
得点者		宮本		中山		中山		田中雅		渡辺 佐藤	

フランス		18 19 20		21		22		23		24 25 26		27		28		29		30		31 32		33
日本	7		8 9		10 11		12		13		14		15		16		17 18		19		20	
得点者	末岡		中山 末岡		岩本 渡辺		末岡		末岡		岩本		末岡		田中雅		田中雅 末岡		末岡		末岡	

【試合寸評】前半５－２からの３失点。そのあと立て続けに６点を連取され14－４の10点差。後半の戦いを前半で出せれば、もっともつれた試合になっていただろう。

攻撃内容	日　本	フランス
7mスロー	0/0	5/7
6mエリアシュート	3/6	6/7
サイドシュート	2/5	1/7
9mラインシュート	8/31	6/7
FB(速攻)	6/11	9/15
BT(カットイン)	1/2	6/6
シュート率	20/55(36%)	33/49(61%)
アシスト	20	27
反則	2回	4回
2分間退場	5回	1回
失格	0回	0回



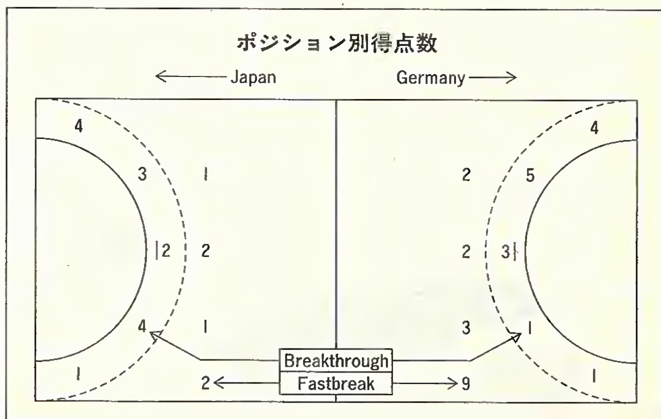
ド　イ　ツ　30(15－9)19　日　本

ドイツ	1		2 3		4		5 6 7		8		9 10		11 12		13		14 15
日本		1		2		3		4		5		6 7		8		9	
得点者		渡辺		末岡		末岡		渡辺		田中雅		中山 田中雅		宮本		岩本	

ドイツ	16 17		18 19		20 21		22		23		24 25		26 27		28 29 30	
日本		10		11		12		13		14		15		16		17 18 19
得点者		田中雅		三輪		末岡		渡辺		末岡		三輪		末岡		岩本 三輪 藤井

【試合寸評】ドイツは前半からコンスタントに点を取り、ロング、ポスト、サイドとバランスの良い攻撃で日本を圧倒した。

攻撃内容	日　本	ド イ ツ
7mスロー	2/3	3/6
6mエリアシュート	3/3	5/7
サイドシュート	4/5	5/10
9mラインシュート	4/29	7/13
FB(速攻)	2/5	9/11
BT(カットイン)	4/5	1/1
シュート率	19/50(38%)	30/48(62%)
アシスト	17	26
反則	2回	4回
2分間退場	7回	4回
失格	0回	0回

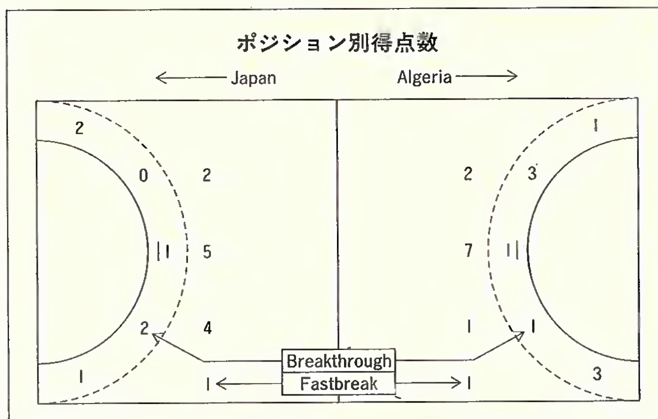


アルジェリア　20(9－7)18　日　本

1　2 3 4 5 6 7　8　9	10　11　12 13　14　15 16　17 18　19　20
1 中山　2 中山　3 末岡　4 中山　5 中山　6 末岡　7 森本	8 末岡　9 森本　10 末岡　11 堀田　12 末岡　13 末岡　14 森本　15 冨本　16 岩本　17 森本　18 堀田

【試合寸評】アルジェリア④サリム・ニジェールのロングに手を焼き、1人で11点取られた。日本は勝っていたゲームだけに惜しまれる。

攻撃内容	日　本	アルジェリア
7mスロー	1/3	1/4
6mエリアシュート	0/1	3/3
サイドシュート	3/3	4/7
9mラインシュート	11/17	10/20
FB(速攻)	1/2	1/1
BT(カットイン)	2/4	1/2
シュート率	18/30(60%)	20/37(54%)
アシスト	17	19
反則	9回	4回
2分間退場	7回	8回
失格	1回	1回

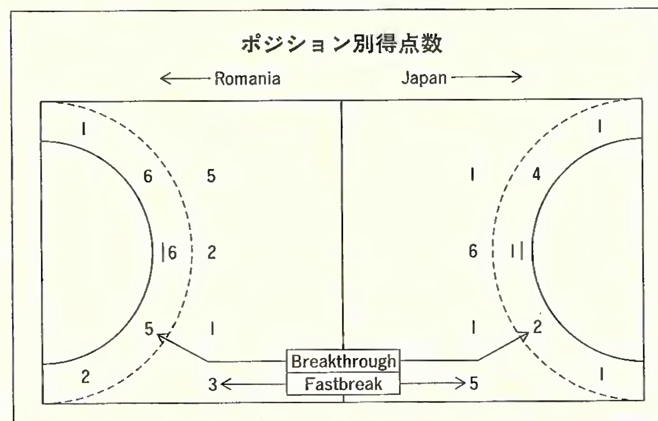


ルーマニア　31(15－10)22　日　本

1 2 3 4 5　6　7　8 9　10　11 12　13	14 15　16 17 18 19 20　21 22 23　24 25　26 27 28 29　30　31
1 三輪　2 田中雅　3 冨本　4 中山　5 岩本　6 渡辺　7 中山　8 中山　9 田中雅　10 藤井	11 田中雅　12 藤井　13 渡辺　14 田中雅　15 中山　16 中山　17 渡辺　18 藤井　19 岩本　20 岩本　21 冨本　22 中山

【試合寸評】前半一進一退の攻防。後半のはじめも常に1点差のゲームを展開したが、5点連取で一気に差をあけられた。

攻撃内容	日　本	ルーマニア
7mスロー	1/1	6/7
6mエリアシュート	4/5	6/6
サイドシュート	2/6	3/5
9mラインシュート	8/30	8/21
FB(速攻)	5/9	3/5
BT(カットイン)	2/5	5/5
シュート率	22/56(39%)	31/49(63%)
アシスト	20	23
反則	8回	7回
2分間退場	5回	6回
失格	0回	0回



デンマーク 35(15－9)22 日本

前半

デンマーク得点	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15

日本得点	1	2	3	4	5	6	7	8	9
得点者	末岡	岩本	末岡	末岡	中山	渡辺	冨本	岩本	岩本

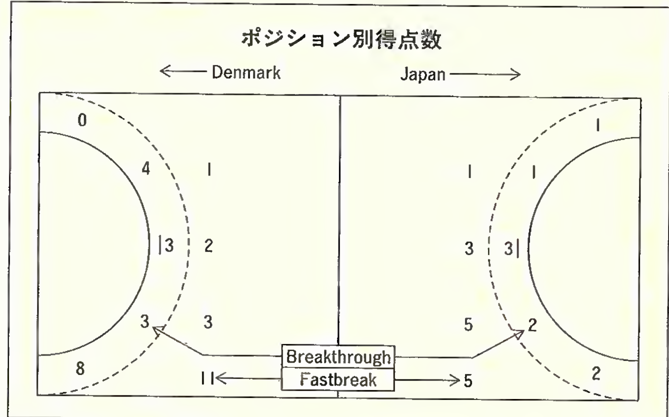
後半

デンマーク得点	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35

日本得点	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
得点者	中山	中山	渡辺	末岡	末岡	中山	中山	末岡	藤井	冨本	渡辺	藤井	末岡

【試合寸評】前半8－8からデンマークに対しサイド、速攻と走られ、後半の立ち上がりも一時追いつけるかと思った矢先、7点の連続失点。大量35点を奪われてしまった。

攻撃内容	日本	デンマーク
7mスロー	3/3	3/4
6mエリアシュート	1/1	4/5
サイドシュート	3/6	8/9
9mラインシュート	9/28	6/12
FB(速攻)	5/5	11/14
BT(カットイン)	2/2	3/7
シュート率	22/45(48%)	35/51(69%)
アシスト	18	30
反則	4回	5回
2分間退場	6回	4回
失格	0回	0回



予選リーグ個人得点数

		ゲーム数	シュート数	ゴール数	%	ペナルティー
①尹 京信	韓国	5	77	45	58	9/11
②ドミトリー・フィリポフ	ロシア	5	54	39	72	22/28
③ローマン・フンガルトニック	スベロニア	5	56	39	70	6/8
④エリック・ハーヤス	スウェーデン	5	50	37	74	1/1
⑤カルロス・レイナルド・ペレス	キューバ	5	77	36	47	6/10
㉓末岡政広	日本	5	56	24	43	4/7
㊵中山 剛	日本	5	62	20	32	－



大会マスコットのエルフマン・モ

トップゴールキーパー(予選)

		ゲーム	セーブ	シュート	%
①グラミディミル・リベロ・ヘルナンデ	キューバ	5	91	217	42
②李 碩烱	韓国	5	68	162	42
③ロルフ・ドブラー	スイス	5	68	160	42
④ソリン・ガブリエル・トアーシェン	ルーマニア	5	68	154	44
⑤マーク・シュモッカー	アメリカ	5	63	198	32
⑥橋本 行弘	日本	5	53	148	36

※なお橋本GKはペナルティー阻止19本中7本でセーブトップだった。

アシスト

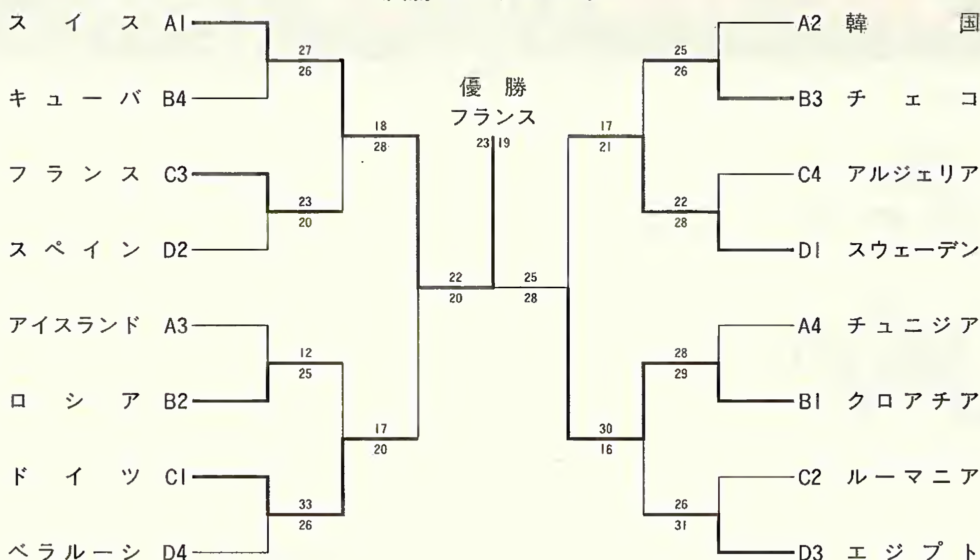
①アンドレ・パラシチェンコ ベルラーシ 5ゲーム 38アシスト

フェアプレイ

①韓 国	5ゲーム	24分間
②エジプト	5ゲーム	26分間
③アメリカ	5ゲーム	26分間
㉓日 本	5ゲーム	60分間

データ・ルーム

決勝トーナメント



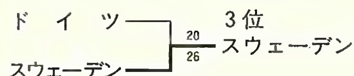
		5/8フランス	5/10ドイツ	5/12アルジェリア	5/13ルーマニア	5/14デンマーク	計
1	橋本	13/34	10/30	16/36	14/44	0/4	53/150
12	林	3/15	6/16	0/0	0/1	20/50	29/82
16	井上	-	-	-	-	-	-
12	林	-	-	-	-	1/1	1/1
1	橋本	0/1	-	-	-	-	0/1
2	田中雅	3/5	3/3	0/1	3/3	0/0	9/12
5	宮本	2/4	1/3	1/4	2/6	2/5	8/22
6	末岡	6/14	5/12	6/9	0/7	6/13	23/55
7	田中茂	-	0/0	0/0	-	0/0	0/0
8	堀田	-	-	2/2	-	-	2/2
9	佐藤壮	1/1	0/0	-	0/0	-	1/1
11	渡辺浩	2/2	3/4	0/0	3/5	3/4	11/15
13	三輪	-	3/8	-	1/1	0/1	4/10
14	中山	3/15	1/10	4/5	7/21	5/11	20/62
15	森本	1/4	-	4/4	0/1	0/1	5/10
17	木浪	0/1	-	-	-	-	0/1
18	岩本	2/7	2/9	1/5	3/6	3/7	11/34
19	藤井孝	0/1	1/1	0/0	3/6	2/2	6/10
		20/55	19/50	18/30	22/56	22/45	101/235
		36%	38%	60%	39%	51%	43%

日本選手のシュート数及び決定率(GKはセーブ数)

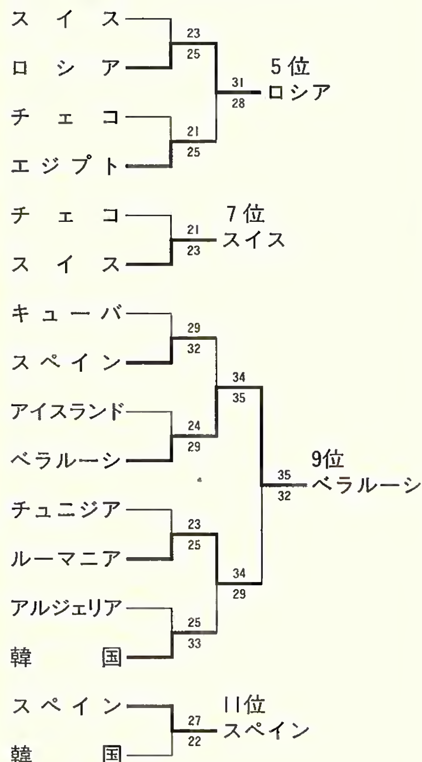
7mスロー 7/10　6mエリアシュート 11/16　サイドシュート 14/25
9mラインシュート 40/135　FB(速攻) 19/32　BT(カットイン) 10/17
反則25回　2分間退場5回　失格1回

【順位】①フランス②クロアチア③スウェーデン④ドイツ⑤ロシア⑥エジプト⑦スイス⑧チェコ⑨ベラルーシ⑩ルーマニア⑪スペイン⑫韓国
13～16位アイスランド・チュニジア・アルジェリア・キューバ
17～20位デンマーク・スロベニア・ハンガリー・クウェート
21～24位日本・ブラジル・アメリカ・モロッコ
　なお、上位7位までが96年アトランタオリンピックへの出場権を獲得した。

■3位決定戦



■5～12位順位決定戦



■決勝戦　フランス　23(11-6)19　クロアチア



94年度のMVPに輝いた
ドイシェバエフ(スペイン)

	フランス	ゴール/シュート
GK	12 ブルーノ・マルチーニ	
	16 ヨアン・デラートル	
CP	3 パスカル・マーエ	0/0
	5 フレデリック・ボーユ	1/7
	6 デニス・ラトウー	2/7
	7 ゲノック・ケルバデック	3/4
	9 ゲール・モンチューレ	3/3
	10 グレゴリー・アンケチル	3/8
	11 エリック・キンチン	0/1
	15 ローレン・ムニエル	2/5
	17 ジャクソン・リチャードソン	2/4
	18 ステファン・ステックリン	7/12
		23/51
		(45%)

	クロアチア	ゴール/シュート
GK	12 ブラド・ソーラ	
	16 ブルテル・マトシェブッチ	
CP	3 ゴラン・ペルコバッツ	0/2
	4 イルファン・イマイハアギッチ	4/5
	5 ボジダル・イオブッチ	1/1
	6 アルバーロ・ナンイノブッチ	1/4
	7 トミシアク・ファルカス	1/2
	8 ズボニミル・ビリッチ	5/9
	10 イストック・ブッチ	0/6
	13 パトリック・ツァバル	5/7
	15 スラブコ・ゴルジャ	1/6
	17 ズライコ・シャルチェブッチ	1/6
		19/48
		(40%)

《優勝したフランスチームの足跡》

予選リーグ	○フランス	33−22	日本
	○フランス	23−21	アルジェリア
	×フランス	22−23	ルーマニア
	○フランス	22−21	デンマーク
	×フランス	22−23	ドイツ
決勝トーナメント	○フランス	23−20	スペイン
	○フランス	28−18	スイス
準決勝	○フランス	22−20	ドイツ
決勝	○フランス	23−19	クロアチア

予選リーグC組第３位で通過。準決勝では予選で敗退したドイツを撃破。決勝でクロアチアを破る。

《２位のクロアチアチームの足跡》

予選リーグ	○クロアチア	26−24	チュニジア
	○クロアチア	33−21	モロッコ
	×クロアチア	25−27	チェコ
	○クロアチア	25−20	ロシア
	○クロアチア	31−27	キューバ
決勝トーナメント	○クロアチア	29−28	チュニジア
	○クロアチア	30−16	エジプト
準決勝	○クロアチア	28−25	スウェーデン
決勝	×クロアチア	19−23	フランス

予選リーグB組第１位で通過。ロシアに快勝は大きい。決勝トーナメント・チュニジアに大苦戦。かろうじて逃げ切り、準決勝ではスウェーデンの攻撃を前半封じ込めた。決勝ではそれまでの思い切りのよいプレーが見られず、常にフランスに先手を取られ敗れる。しかし、今回のクロアチアの健闘に対して大いに観衆から拍手が沸いた。





[上]３位決戦のドイツ対スウェーデン。[左]MVPに輝いたジャクソン・リチャードソン(フランス)[下]決勝を争うフランスとクロアチア



今大会得点ベスト10

		ゲーム数	シュート	ゴール	%	7m
1	尹　京　信(韓国)	9	156	86	55	16/18
2	ドミトリー・フィリポフ(ロシア)	9	90	69	77	39/48
3	ミハエル・イアキモビッチ(ベラルーシ)	9	97	57	59	17/20
4	マルック・バウムガートナー(スイス)	9	108	57	53	16/22
5	エリック・ハーヤス(スウェーデン)	9	81	55	68	1/1
6	カルロス・レイナルド・ペレッツ(キューバ)	7	106	49	46	8/14
7	ステファン・ステックリン(フランス)	9	86	48	56	14/21
8	イルファン・イマイハギッチ(クロアチア)	9	68	47	69	-
9	アブド・エルワレス・スメー(エジプト)	9	90	46	51	8/11
10	アンドレ・パラシチェンコ(ベラルーシ)	9	72	45	62	-



得点王の尹京信(韓国)

トップゴールキーパー

		ゲーム数	シュート	セーブ	%	7m
1	グラディミル・リベロ・ヘルナンデ(キューバ)	7	314	129	41	6/22
2	李　碩　烔(韓国)	9	315	126	40	2/9
3	バルター・マトセビッチ(クロアチア)	9	242	107	44	6/29



大会ポスター

トップアシスト

		ゲーム数	アシスト
1	タラント・ドイシェバエフ・ムクー(スペイン)	9	61
2	アンドレ・パラシチェンコ(ベラルーシ)	9	59
3	マルック・バウムガートナー(スイス)	9	54

フェアプレイ

		ゲーム	タイム
1	アメリカ	5	30分
2	ブラジル	5	34分
3	韓　国	9	38分
4	デンマーク	5	44分
5	クウェート	5	48分

トップ退場者

		ゲーム	タイム
1	アンドレ・クリモベット(ベラルーシ)	9	20分
2	イオン・ルディ・ブリサカル(ルーマニア)	9	20分
3	マルティン・セトリック(チェコ)	9	20分

●今大会のベストプレイヤー(MVP)

Jackson Richardson(フランス)

ジャクソン・リチャードソン　26才.185cm.82kg

今大会はゴールは15点とチーム内でも6位であるが、フランスチームの5：1防御のトップを守り、各試合、特に決勝でのクロアチアの攻撃を防ぎ優勝に貢献。素早いフットワークとボールコースの読みは抜群だった。

●得点王　尹　京信(韓　国)

Kyung-shin Yoon　21才.202cm.89kg

9ゲーム86ゴール　シュート数 156本 (内7mスロー16/18)　シュート率55%

2位に27点差をつけてのダントツの得点王。高い位置からのシュートを上下に巧みに打ち分け、スピード、切れともに申し分なし。

●1994年度最高プレイヤー

Talant Dujshebaeu Mukh(スペイン)

タラント・ドイシェバエフ. 27才.183cm.88kg

G・D Teka所属 (ロシアからスペインに帰化)

攻撃のリードオフマンであり、シュートはステップ、ジャンプとバリエーションが豊富。またシュートフェイントからのパスなども巧く、小柄な中にも緩急織り混ぜた動きは素晴らしい。センタープレイヤーとして最も魅力あるプレイヤーである。今大会は9ゲームに出場。40ゴール、シュート数72本。シュート率56%。

●オールスターチーム(ベスト7)

ゴールキーパー	Andreas Thiel(No.12)(ドイツ) アンドレア・ディール　35才　194cm 97kg
左サイド	Erik Hajas(No.7)(スウェーデン) エリック・ハヤス　33才　183cm 84kg
左45°フローター	Jackson Richardson(No.14)(フランス) ジャックソン・リチャードソン 26才 185cm 82kg
センター	Talant Dujshebaer (No.10)(スペイン) タラント・ドイシェバエフ　27才　183cm 88kg
右45°フローター	Kyung-shin Yoon(No.13)(韓国) 尹　京信　21才　202cm 89kg
右サイド	Irfan Smajagic(No.4)(クロアチア) イルファン・イマイハギッチ



ベスト7に輝いた選手たち

火山と氷河の国

愛すランド

ICELAND

◎アイスランドは北大西洋のほぼ真ん中に位置する。コペンハーゲン、アムステルダムから飛行機で2~3時間に位置するヨーロッパでは英国に次ぐ大きな島で、北海道と四国を合わせた面積より更に1万㎢も広い。

◎アイスランドは9世紀にノルウエーの圧政を逃れてきた北欧民族（いわゆるヴァイキング）が移生し建国したのが国の興り。

人口　26万人（1993年12月現在）

レイキャビック市　10万人

大統領は女性。ヴィグジス・フィンボガドウチィル大統領。

国民1人当たりの収入は世界のトップクラス。

気候：冬も温暖な西岸海洋性気候。暖流メキシコ湾流の恩恵を受け、夏は涼しく、冬は穏やかな気候。平地での気候は夏は12~15度。一番寒い月の1月でも秋田市なみ。しかし風が強く、変わりやすい気候。5月の平均気温は6・5度。

◎アイスランドは最北の国の不思議な美しさ。見渡す限りの地平線で、地熱温泉暖房システム利用による全く汚染されていない空気と澄み切った青い空が続く。無数の野生植物と野鳥、壮大な氷河や豪快に吹き上げる間欠泉の素晴らしさは訪れた人を感動させる。アイスランド人の懐っこい温かいもてなし、まさに愛すランドである。

◎今大会のトータル観客数は10万8千人。



記者発表でのIHFランス会長（右から２人目）

95世界選手権大会観戦記

ゲームはライブで観るに限る

筑波大学　藤本　元・東田美保・浜田琴美

氷河の上を越えて、辺り一面溶岩大地の広がるKeflavik空港に着いたのは、5月9日の夕方でした。この日から13日間にわたって、人口26万人の小さな北の孤島、アイスランドで開かれた男子世界選手権大会を見て参りました。計31試合もの熱戦を目のあたりにしたハンドボールファンとして、その興奮を報告させて頂きます。

乗り継ぎ乗り継ぎで16時間も飛行機に揺られてアイスランドに行ったのは、「世界で最高のハンドボールのゲームが観たかったから」と、至って単純な理由からです。暇はあるが金のない我々学生3人は、協会の指導委員をされている旅上手な飯田さんに頼んで格安な料金で一緒につれていって頂きました。収容人員3~4千人の試合会場の席は6、7割埋まっており、アイスランドチームの試合時は立ち見席も満員の状態でした。世界のプレーに魅了されて帰国した今、「ゲームはライブで観るに限る」と強く感じています。

印象に残っているチームは、やはり優勝したフランスです。5・1DFのトップDF、Richardsonから目が離せません。運動量豊富かつ臨機応変な彼の動きは、相手のパスを遮断し、ボールをみるみるうちに奪い取り、速攻による得点を導き出します。彼は1試合中攻撃に参加するわけではありませんが、センターとして出たときは、シュート、アシストと得点に絡みます。フローターのポジションでベスト7に、また今大会のMVPにも選ばれました。彼のプレーはよりスピーディーでダイナミックなゲームを模索しているハンドボールにおける一つの理想像を示していると思います。その他にもベテランの卓越した技術・戦術能力を様々な局面で魅せてくれた準優勝のクロアチア、組織的で流れるような速攻からノーマークのプレイヤーを簡単に創りだしてしまう3位のスウェーデンなど、上位のチームは、いずれも完成度が高く、楽しませてくれるチームばかりでした。マンツーマンに近い積極的なDFでヨーロッパ勢から勝利をもぎ取っていったアフリカ勢の活躍にも目を見張るものがありました。


（左から）藤本、浜田、東田の各氏

◎熊本県・福島知事が閉会式で「熊本でお会いできる日を楽しみにしています」と英語で挨拶。大きな拍手を受けられた。またオーロラビジョンで熊本の街が紹介された。そしてサヨナラパーティーでも参加者全員の前で次の様にスピーチされた。(抜粋)
「関係者の皆様のご努力によって素晴らしい大会が開催されました。ご成功を心からお祝い申し上げます。……躍動するハンドボールの試合も感動的でしたが、地元アイスランドの美しい自然と、人々の温かいお気持ちに触れることができて、この大会は私にとって終生忘れることのできない大きな思い出であります。
　熊本は火の国とも呼ばれ、豊かな緑と清らかな水、そしてきらめく太陽の光に恵まれた日本の中で南に位置する一都市であります。……ぜひ2年後、皆様方と熊本でお会いできることを185万の熊本の住民ともども心から楽しみにお待ちしております。」
◎大会のロゴ：アイスランドのガロア・ペターソン氏のデザイン。ゲームの力、アイスランドの国色を織り混ぜて作成された。
◎大会のマスコット：北欧の神話に出てくる鬼（ELFMAN MO）が選ばれた。想像と超自然の力を好むアイスランドでは一般的に知られているもの。
◎大会組織委員会：今大会はアイスランド協会を中心に200名の協力者が数ケ月間従事。組織委員会はそれぞれの開催場所で働き、大会開催時には360名のボランティアが輸送・安全性にも協力し、大会を陰で支えた。また開催前後を通じて550名の選手、30名の役員、技術員、IHF・ドーピング関連責任者、32名の審判員、600名のプレス関係者等で、総勢約1700名以上の人が関連したことになる。テレビ局はアイスランドだけでは賄い切れず、ドイツ、デンマークからも応援に来ていた。テレビ局30局、ラジオ局10局が来ていた。


サヨナラパーティーで挨拶する福島知事

こうしたプレーに接する機会が多いヨーロッパの観客達は、目が肥えているのでしょう。すばらしいプレーには惜しみない拍手を、ひいきのチームには会場に響き渡る声援を、おそまつなプレー、レフェリングには激しいブーイングをと、ゲームに積極的に参加しています。ゲームの楽しみ方については達人です。そんな観客に混じってゲームを観ていると、私自身もその場に引き込まれていき、プレーヤーの感じているプレッシャーやシュートを決めたときの喜びに共感し、からだが震えるような感覚を覚えるのです。こうしたゲームには、劇的な結末が用意されているもので、そのドラマに観客は酔いしれます。ゲームは一種のエンターテイメントなのです。もちろん、全ての試合がこうではありません。9～12位決定戦では、観客20名程度、内容もおそまつなものもあったようです。しかし、本当によいゲームを1つでも観ることができれば、誰もが満足するはずです。

　このエンターテイメントを演出しているのが大会本部なのでしょう。地元アイスランドを盛り上げるための事前のPR活動も熱心に行われていたようです。大会会場の役員は、ほとんどがボランティアだと聞きました。つたない英語で質問する私に、親切に対応してくれました。また、新しいコンピュータ・システムを使ってゲーム・スコアが即座に作成されプレス関係者に配られます。このスコアや毎日発行されるニュース・レターなどを私も見せていただき、情報が多い試合の奥行きが広がって、おもしろさが倍増することを実感しました。

　チーム、レフェリー、観客、そして大会本部が調和した環境の中で、良い試合は生れていくのでしょう。いずれが欠けてもエンターテイメントは、成り立たないに違いありません。この大会に参加し、素晴らしい体験を共有しました。だから、「ゲームはライブで観るに限る」と感じたのでしょう。

　私たちは、2年後の熊本で開かれるこの大会を楽しみにしております。再びこうしたゲームに出会うチャンスが与えられるのですから。熊本での大会の成功を祈るだけではなく、微力ながらできる範囲でお手伝いをしたいと思っています。また、全日本チームにもホスト国として頑張ってほしいと願っています。応援しています。

　時差ボケ状態で到着し、食事も気候も慣れない異国の地では、体調を崩さないまでも、少々だるい状態になるものです。そんな時に、220円程度で利用できるアイスランドならではの温泉を利用したプールでの水泳、入浴が、生活を快適にしてくれたことを最後に特筆しておきたいと思います。


澄みきった空の美しさが印象的だったレイキャビック

高松宮杯第36回全日本実業団選手権大会

湧永製薬が日新を下して11回目

全日本実業団連盟副理事長　吉澤　力男

男子の部

高松宮杯第36回全日本実業団選手権大会が、日本ハンドボール協会、全日本実業団ハンドボール連盟主催、大阪ハンドボール協会、大阪実業団ハンドボール連盟主管、朝日新聞社、大阪府・大阪市教育委員会、近畿実業団ハンドボール連盟後援のもとに平成7年5月12日より14日まで、大阪市中央体育館に於て3日間で開催された。

大会中に、ハンドボール男子世界選手権大会で、日本は予選リーグで4連敗となり決勝トーナメント進出は果たせなかった。この結果、アトランタ五輪出場権獲得の場は、9月の五輪アジア地区予選に絞られたという情報がテレビより流れた。然し、ここ大阪市中央体育館では最終日を迎え、1点を争う好試合が展開され、大熱戦に館内が大いに沸いている真最中であった。

本大会は、毎年のことながら年度最初の大会で、各チームの戦力を、また仕上り具合をみるのに絶好の大会でもある。試合前の各チームの監督の反応を観察するに、ナショナル選手の穴をなんとかベテランで埋め試合に臨む。有力選手が揃っているので好成績を、ポイントゲッターの穴が埋まらず試合をしてみなければわからない、と様々で各チームは試合に臨んだ。

大会初日第1試合で、トヨタ車体（日本リーグ二部）が三陽商会を破る番狂わせでスタートした。トヨタ車体は、この勢いを2回戦にも発揮し、岡部選手を中心とする速い球まわしから得点に結びつけ、昨年優勝チームの中村荷役を破る殊勲の大金星をあげた。中村荷役は、朴・呉の韓国選手に若い選手のかみ合いがもう一つで、最後までリズムをつかめなかった。

2回戦では、続いて行われた日新製鋼対本田技研、湧永製薬対大同特殊鋼は1点を争う好試合であった。攻守ともに安定している日新製鋼に対し、ほぼ若返りを終えた本田技研の注目すべき対戦となった。前半、日新製鋼の1点リードで後半に入り、流れは本田に変わったかと思われたが、日新が再逆転し24－21で準決勝に進んだ。湧永製薬対大同特殊鋼は、湧永のベテランに対して、大同の若手有望選手で対戦し、伝統の対戦通り前半同点で折返し。後半は手に汗を握る大熱戦で、湧永のベテラン勢と若手杉山選手の活躍で、22－20で準決勝に進んだ。2回戦のもう一試合、大崎電気対日本電装は、前半13－10の大崎リードで折り返した時は日本電装に

個人表彰者

◆敢闘賞
小林　　洋（日新製鋼呉鉄球会）
野々　新作（トヨタ自動車）
大中　明徳（本田技研熊本）
長岡　洋行（三陽商会）
梅井　文貴（日本電装）
清水　博之（大同特殊鋼）
宇佐美博史（中村荷役）
中里　賢二（本田技研）
渡辺　修崇（トヨタ車体）
小野　和正（大崎電気）
林　　昌英（日新製鋼）
浜本　忠志（湧永製薬）

◆ベスト7
多田　恵久（湧永製薬）
河原　隆雅（湧永製薬）
杉山　裕一（湧永製薬）
堀田　幸夫（日新製鋼）
木村　信弥（日新製鋼）
首藤　信一（大崎電気）
岡部　哲也（トヨタ車体）

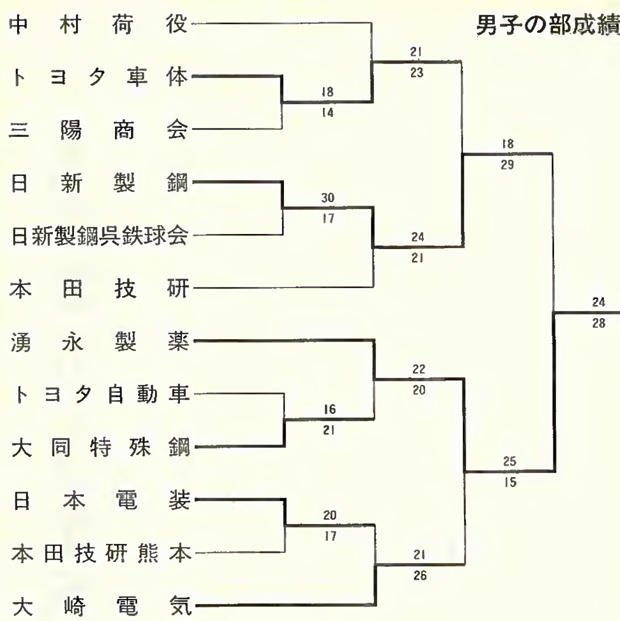
◆最優秀選手賞
玉村　健次（湧永製薬）

◆最優秀新人賞
森脇　　清（大崎電気）

◆最優秀監督賞
酒巻　清治（湧永製薬）

もしやの期待がかかったが、後半に入るや、やはり名門大崎電気が力の差を見せつけ26―21で準決勝へ進出した。
　準決勝は、勢いに乗ったトヨタ車体と初優勝を狙う日新製鋼、湧永製薬対大崎電気の名門同士の組み合わせとなった。
　トヨタ車体は前半20分まで日新に互角の試合を展開。然し、前半20分過ぎより日新の安定した攻守の前に7連続ゴールを決められ、完全に試合の主導権を日新に握られ、29―18で日新が決勝に進出した。湧永製薬対大崎電気は、前半20分まで互角の試合展開であったが、湧永のうまさに対し、魚住選手を負傷で欠く大崎にリズムが返らず、後半に入っても点差が開くばかりで25―15で湧永が楽勝し、決勝戦に進んだ。
　3位決定戦は、日本リーグ二部のトヨタ車体が3位の栄冠を得るのかどうかに興味がかかった。大崎電気は、首藤を中心に小野、森脇選手のミドルシュートで、一方トヨタ車体は岡部、河合、中山選手らの速い動きからのミドルシュート、ポストプレーで全く互角のまま後半に入った。後半に入っても1点を争うシーソーゲームが続き、大いに場内を沸かす場面が続出した。誰もが延長戦と思った瞬間、残り2秒でエース首藤がシュートを決め、大崎がかろうじて3位に入った。
　決勝戦も3位決定戦にたがわず大熱戦を展開。観衆を充分魅了する内容であった。湧永はGK多田選手の好守備、大ベテラン玉村、河原と若手杉山選手らの調和がよく保たれ、これに対し日新は堀田選手を中心に、源内、林、木村のベテラン勢が活躍し、攻守全く互角の試合展開となった。然し、後半の終盤の勝負どころで勝つ味を知っている湧永のベテラン勢、玉村、酒巻、河原の連続ゴールで日新をようやく振り切り、湧永製薬は栄えある第11回目の高松宮杯を獲得した。
　得点は28―24の4点差で終ったが、日新製鋼も選手個々の動き、プレーで決して湧永に劣るものでなかったことを付け加えておく。
　試合終了後、慣例により各種表彰が行われたが、この中で「大阪府知事賞」が最高殊勲選手・玉村健次選手に贈られ、「横山ノック」と読み上げられると、会場は笑いに包まれた。
　また本大会よりファンサービスとしてスポーツ用品を100点プレゼントしたが、非常に好評で、今後もファンサービスに努めていく。
　以上、第36回大会の報告をしましたが、今後とも皆さんのご指導により立派な大会へと育成努力を続けて参ります。

男子の部成績



■決勝戦
湧永製薬　28 (12―13 / 16―11) 24　日新製鋼
■3～4位決定戦
大崎電気　20―19　トヨタ車体
■5～6位決定戦
本田技研　18―15　中村荷役
■7～8位決定戦
大同特殊鋼　23―18　日本電装
■9～10位決定戦
三陽商会　22―12　本田技研熊本
■11～12位決定戦
トヨタ自動車　22―18　日新製鋼呉鉄球会


MVPの玉村選手

女子の部

大崎電気が日立栃木を下しV2

全日本実業団連盟理事　緒方　嗣雄

　今年度最初の大会である本大会は、各チーム最強の布陣で迎えた。昨年度のスケジュールが2月に終り、この大会までの3ケ月間に各チーム共に新旧交替があり、チーム力を知る絶好の大会であり各参加チームの入れ込み様も相当である。

　1回戦4試合。大和銀行対JUKI戦は、バランスの悪い中でも実力通り大和銀行の勝利。ブラザー工業対ソニー国分戦は従来より混戦が多く、予想のつかない試合である。前半はブラザー工業が4点リードするも、後半に入りソニー国分の追い上げで逆に残り5分で3点リード。リードされると力を発揮するブラザー工業の猛攻で再逆転してブラザー工業の勝利。イズミ対シャトレーゼ、新鋭イズミは韓国コンビ（林選手・姜選手）の活躍で、退部者、故障者で充分なチーム力が出せなかったシャトレーゼに勝って2回戦へ。ジャスコ対ムネカタ、秋に国体を控えたムネカタは新人山田選手、柳田選手を加えたもののコンビネーションが悪く、ジャスコ土師選手のハッスルプレーの前に屈した。

　2回戦。前回優勝の大崎電気は、ベテラン尹選手の3年振りの復帰、大和銀行は白選手に密着マンツーマンに付くも、広瀬選手、新人川村選手の活躍で大差で大和銀行を下した。ブラザー工業対北国銀行。ミスの多いブラザー工業に対してスピードで勝る北国銀行が多彩な展開を見せて勝利。日立栃木対イズミ戦は、1点差を争う好ゲームとなるが、イズミ・林選手、尹選手のスタミナ切れでチーム力がダウンしたイズミに日立栃木が辛勝。ジャスコ対オムロン戦。前半、一方的に得点を重ねたオムロンの楽勝かと思われたが、後半はジャスコがペースをつかみ3点差まで詰め寄るがオムロンの逃げ切り。ベスト4は昨年同様、大崎電気、北国銀行、日立栃木、オムロンである。あらゆるスポーツの試合で準決勝が一番面白いと言われるが、女子ハンドボールもまさしく白熱した1点を争う好ゲームが展開された。

　大崎電気対北国銀行戦。北国銀行が先行し、終始リードを保つ。大崎電気も何回となく同点にするがリード出来ない。残り2分、尹選手のシュートで逆転、接戦の試合を勝ち上がった。第2試合、日立栃木対オムロン戦。前半はオムロンの多彩な攻撃が成功して同点とし、今大会初の延長戦。追い上げた日立栃木のペースで延長戦を乗り切り勝利を得て決勝へ。

　決勝戦。日立栃木の先行に始まり、前半は日立栃木のペース。7Fで大崎電気が、陳選手にマンツーマンしたが全員の動きがよく2点リードで折り返し。後半は大崎電気・尹選手、白選手の活躍で23－23の同点となり延長戦へ。尹選手を中心に得点を重ね、大崎電気のリードで残り2分、3点リードで終ると見え

個人表彰者

◆敢闘賞
高塚　和美（JUKI）
高橋　　忍（シャトレーゼ）
山下美智子（大和銀行）
林　　五卿（イズミ）
古沢さとこ（北国銀行）
北村　涼子（大崎電気）
山田美智代（ムネカタ）
安山えい子（ソニー国分）
熊崎　由紀（ブラザー工業）
池田奈美子（ジャスコ）
田中　里美（オムロン）
坂本　和美（日立栃木）

◆ベスト7
今野　清美（大崎電気）
広瀬喜代香（大崎電気）
白　　仁淑（大崎電気）
伊佐野実保（日立栃木）
小柏智恵子（日立栃木）
上出恵美子（北国銀行）
田中由美子（北国銀行）

◆最優秀監督賞
矢内　　浩（大崎電気）

◆新人賞
田村　啓子（オムロン）

たが、日立栃木の猛攻で速攻、サイド、７ｍスローで再び同点。第二延長前半は２—２、後半に入り両チームともミスが多く得点に結びつかない。終了10秒前、速攻崩れをサイドに位置していた尹選手が飛び込み７ｍスローを得た。そのまま尹選手が決めて熱戦が終った。大崎電気の２連覇で大会全日程を終了した。

大会を通じて、選手の技術的進歩が余り見られない。チームプレーにミスが多い。大事な場面のプレーは外国人選手が目立っており、その選手の所属チームが上位を占めているのが現状である。日本選手の奮起を期待致したい。最後になりましたが、愛知県協会をはじめ東海地区実業団の皆様には大変お世話になり、心より御礼申し上げます。

7月の行事予定

●全国大会

7/28～30　第15回全国クラブ選手権大会（高松市総合体育館）
7/29～31　第８回全国小学生大会　（京都府田辺町）

●国際大会ほか

6/28～7/7 女子ナショナル・ヨーロッパ遠征
7/2 ～8　国際交流大会：ハンガリー学生（関東）
7/3 ～21　女子ジュニア：インデラムニア・アラモ大会
7/14～16　第１回広島ハンドボール大会（広島）
7/21～23　熊本カップ　（熊本）

女子の部成績

回戦	対戦	スコア
1回戦	ＪＵＫＩ 対 大和銀行	15－23
1回戦	ブラザー工業 対 ソニー国分	21－20
1回戦	イズミ 対 シャトレーゼ	23－15
1回戦	ジャスコ 対 ムネカタ	29－18
2回戦	大崎電気 対 大和銀行	24－11
2回戦	ブラザー工業 対 北国銀行	18－23
2回戦	日立栃木 対 イズミ	22－20
2回戦	ジャスコ 対 オムロン	19－22
準決勝	大崎電気 対 北国銀行	21－20
準決勝	日立栃木 対 オムロン	25－22
決勝	大崎電気 対 日立栃木	30－29

■決勝戦

大崎電気　30（14－16、9－7、2－1、2－3、2－2、1－0）29　日立栃木

■３位決定戦
北国銀行　28－23　オムロン

■５～６位決定戦
ジャスコ　22－19　イズミ

■７～８位決定戦
大和銀行　20－18　ブラザー工業

■９～10位決定戦
ソニー国分　27－22　シャトレーゼ

■11～12位決定戦
ムネカタ　22－12　JUKI



叙勲の栄に浴して

日本ハンドボール協会元常務理事
嶋田　新太郎

この度、春の叙勲で勲五等双光旭日章を拝受いたしました。

去る5月12日、国立教育会館において、文部大臣より勲記・勲章の伝達式があり、引き続いて宮中に参内、豊明殿において天皇陛下よりお祝いのお言葉を賜り記念写真を撮って退出。感激の一日を過ごさせて戴きました。

これも今日まで長い間ハンドボールの道一筋に携わって参りました中で、日本ハンドボール協会役員各位、全国高体連ハンドボール部役員の皆さんの暖かいご指導とご支援があったればこそと今しみじみと歩んだ道を思い感謝いたしております。

昭和24年2月、富山県ハンドボール協会設立。理事長に就任して日本ハンドボール協会との関わりを持ち、全国高体連ハンドボール部や審判等での関わりがありましたが、直接的に協会の仕事に入ったのは昭和44年、高体連ハンドボール部副部長として協会常務理事（総務担当）になって本格的な活動に入りました。

時たまたま実業団理事長の田中滋章氏より日本リーグ開催について協会に打診があり、総務として対応している間に、早急な要望になって、協会がこの問題に応じないのであれば自主開催もやむを得ない状況にまで発展して来た。

猶予ならない事態と判断して急遽実業団との懇談会を名古屋でもち、一方各協会で日本リーグを開催している状況把握を杉山茂氏が担当して、常務理事会毎にリーグ開催を訴えて理解を求めたが、よい結果は得られなかった。

昭和50年、三重国体が四日市市で開催され、田村正衛会長、荒川清美理事長、杉山茂氏、嶋田の四者会談を行い、日本リーグの開催に向けての激論が行われ、結果としては納得いくまでとはいかないが、なんとか打開の道が開けたと判断できるところまでに落ち着いた。

誰の思いも結論的には同じではあるが、お互いの思いが少しのずれでかみ合わないことがあるのだろう。

しかし協会としてはオリンピック出場、それにはアジアの代表になることが絶対条件である為、力をつけねばならない。

当時、実業団の中で日立の桑名照雄氏が日本リーグ担当となり、国内開催の割振り、審判の配置等、細部に亘って協力を戴き、基礎が出来て今年で20年の歳月が流れました。

思えば厳しい日本リーグの発足であり、今にして思えばよかったことをしたと思います。

一方、全国高体連ハンドボール部は在京の徳永陸繁先生が頑張って、地方の我々がどこまで協力できるかが課題でありましたが、全国の同志がよく協力して、今では不動のものとなり、本年で46年目を迎えるまでになりました。

各地方の同好の士に熱いコールを送り、感謝申し上げたいと思います。

一方、選抜大会も地方の声によって私たち執行部は各方面に積極的に働きかけ、協会の折衝は私が受けて、財政面では副部長清水正先生が担当して、愛知の伊藤和夫先生の協力を得て昭和52年、名古屋市の愛知県体育館で第1回大会を開催するに至りました。

全国高体連の開催基準もあり、各所属協会の主催である以上、協会との連携等もあり、財政面ではアシックス、モルテン、ミカサ各社の協力があったればこそと感謝しておる次第です。

北陸富山の私にとって、戦後何もないところで、ラインを引いて審判をして生徒を教えて試合をやらせて一人舞台の空回りをしながらハンドボールに情熱をかけた私にとって、この度の受章は本当にうれしいの一語です。

何をするにも一人では出来ない。色々な人が集まって物事は出来るのだと泌々と思いを廻らせております。

今、富山県では二千年国体の開催に一生懸命です。私も出来ることはお手伝いして、好きなハンドボールを大事にしていきたいと念願いたしております。

多くの人に感謝して叙勲をうけた言葉といたします。

広島・熊本で男子の国際試合

アトランタオリンピックアジア予選を9月に控え、日本男子の強化を兼ねて広島、熊本で国際試合が行われる。
　来日チームはハンガリー国内チャンピオンチームのフォテックス・ベスプレム、デンマークからは一部のヴィーラム・ソルゲンフライ、オーストリアからはチーム結成100年目という名門のシャーラック・ウィーンヴァット・マルガレーテンチームである。
　日本は全日本チームが参加し、4チームによる総当りリーグ戦方式が取られる。
　アトランタ予選を控え絶好の機会となるが、世界選手権後、蒲生全日本がチームをどう立て直し新しい戦術を発揮し、9月につないでいけるか期待したい。
　各国チーム共クラブチームであるが、ベスプレムチームにはナショナル9名が入っているし、シャーラック・ウィーンには3名のナショナルジュニアの若手がいる。またシャーラック・ウィーンには海外から有力な選手を参加させており、従来のウィーンチームと一味違うプレーをしてくるので、全日本チームにとってはそれぞれタイプが違うだけにいかに力を発揮出来るかも興味深い。若手の成長も芽生えているだけに、ここで一気に力を出して、はずみをつけたいところである。
　欧州のチームは益々スピードと技、力と共に個人技が高いだけに、世界選手権で失点の多かった全日本がいかに25点以内の戦いが出来るか攻防の出来にかかっている。
　広島では16日にNHKテレビが中国エリアでテレビ中継が予定され、熊本でも7月29日に民法テレビ局から放映される。
　なお、広島、熊本各々独自の大会になるが、18日には全日本B（チーム97）が今年度初めて国際試合を行う。若いパワーと技を存分に発揮できるまたとないチャンスとなる。また地元の湧永製薬と日新製鋼チーム共、世界の強豪クラブチームと対戦することになっており、日本のトップチームとの戦いぶりも興味が尽きない。
　なお、広島での入場券の販売は、広島県ハンドボール協会（FAX082－246－8882）、または㈱インテリア・ニシ（FAX082－242－0075）までお問い合わせ下さい。通し券（一般4000円、中高校1800円）、前売券（一般1500円、中高校700円）、当日券（一般2000円、中高校1000円）があります。日程は別掲の通り。
　また、熊本での入場券の販売は、熊本県ハンドボール協会、組織委員会事務局、県内各スポーツ店ですでに発売されている。3日間通し券は4000円（中高生1500円）、前売券は1500円（同700円）、当日券は2000円（同1000円）となっている。

7月14日㈮		
18時	ピーラム.S対F.ベスプレム	（広島市東区スポーツセンター）
19時30分	日　本対S.ウィーン	（広島市東区スポーツセンター）
7月15日㈯		
13時	日　本対ピーラム.S	（広島市東区スポーツセンター）
14時30分	F.ベスプレム対S.ウィーン	（広島市東区スポーツセンター）
7月16日㈰		
11時20分	イズミ対ソニー国分	（広島市東区スポーツセンター）
13時	日　本対F.ベスプレム	（広島市東区スポーツセンター）
14時30分	ピーラム.S対S.ウィーン	（広島市東区スポーツセンター）
7月18日㈫親善試合		
	日新製鋼対F.ベスプレム	（呉市体育館）
	チーム97熊本対S.ウィーン	（甲田町：湧永満之記念体育館）
	湧永製薬対ピーラム.S	（甲田町：湧永満之記念体育館）
7月21日㈮		
18時	F.ベスプレム対ピーラム.S	（熊本県立総合体育館）
19時30分	全日本対S.ウィーン	（熊本県立総合体育館）
7月22日㈯		
15時	F.ベスプレム対S.ウィーン	（熊本県立総合体育館）
16時30分	全日本対ピーラム.S	（熊本県立総合体育館）
7月23日㈰		
15時	ピーラム.S対S.ウィーン	（熊本県立総合体育館）
16時30分	全日本対F.ベスプレム	（熊本県立総合体育館）

全日本女子Jrチームがイタリアへ

女子ジュニアチームはこの度、7月5日からイタリア・テラモ市で開催される第23回コンパ・インテラムニア・テラモ大会に出場する。大会には日本を含め10～12ケ国が参加する予定になっている。
　女子ジュニアチームは、今秋9月6日から18日までブラジル

において開催される第10回世界大会に出場することが決定し、このイタリア遠征は外国チームの対策の一環として貴重な経験を積むことになり、本番での活躍が期待される。

チーム97熊本 （熊本全日本候補チーム）編成

この度、強化委員会は97年第15回男子世界選手権大会に向けて「チーム97熊本」を編成した。

全国各地より72名の有望選手を5月末から6月中旬まで大崎電気に集め、別掲の通り21名を選出した。

少数精鋭で臨み、特に欧州に対抗するため、固有技術、高・重・力、闘争心のある選手を中心に編成した。

現在の全日本チームは万全の体制でアトランタ。オリンピック予選、本選に臨み、終了後チーム97とドッキングし、統一チームを作る構想である。

●チーム97熊本は、7月の広島国際大会でオーストリアのシャーラック・ウィーンと対戦し、そのあとインターコンチネンタルカップ（於：フランス・8月28日～9月3日）に参加する予定である。

平成7年度女子ジュニアナショナル選手

氏　名	所　属	生年月日	身長	体重	出身高校	出身地
山口　文子	オムロン	1975.10.22	172	70	境	鳥取
山下美智子	大和銀行	1976.1.5	176	65	宣真	熊本
野村　奈美	大和銀行	1975.2.17	176	70	宣真	福井
田中　雅美	シャトレーゼ	1975.7.9	160	65	八潮	埼玉
田中由美子	北国銀行	1975.7.25	175	66	小松商業	石川
兌丸美由紀	ブラザー工業	1975.7.31	162	62	名短大付	愛知
加島　絵理	オムロン	1975.8.27	168	62	別府女短大	大分
田口　順子	日本体大	1975.9.26	167	63	松橋	熊本
治島　美奈	日本体大	1975.10.23	161	58	向陽	京都
池田奈美子	ジャスコ	1975.11.12	162	58	小松商業	石川
藤浦　美絵	大和銀行	1975.12.19	171	68	夙川学院	兵庫
熊谷　祐子	シャトレーゼ	1976.2.20	165	54	大曲農業	秋田
梶田　華恵	東女体大	1975.3.21	166	60	名短大付	愛知
川崎　裕美	オムロン	1975.4.24	162	61	本庄	宮崎
河本千寿子	イズミ	1976.3.22	172	65	山陽女子	山口
益田　明子	北国銀行	1975.4.20	162	63	夙川学院	大阪
浦田　芳江	ジャスコ	1976.8.18	171	65	洛北	京都
川村　純子	大崎電気	1976.4.7	163	58	盛岡二	岩手
高橋　忍	シャトレーゼ	1977.1.10	167	63	文大杉並	千葉
北川ひろみ	シャトレーゼ	1975.12.19	167	58	仁愛女子	福井
安岐留美子	北国銀行	1975.9. 2	166	52	高松商業	香川
澤　麻理子	大阪体大	1977.1.5	166	59	洛北	京都

97熊本世界選手権大会代表第一次候補選手

選手	氏　名	所　属	生年月日	身長	体重	出身高校	出身大学	出身地
GK	荒木　進	三陽商会	1971.3.14	185	82	熊本市商	早稲田	熊本
	四方　篤	本田技研	1972.5.12	190	80	北陽	大体大	大阪
	五谷　哲郎	大同特殊鋼	1973.11.16	180	76	小松工業	―	石川
	坪根　敏宏	福岡大学	1973.6.4	186	85	久工大付	―	福岡
CP	五島　宏隆	三陽商会	1971.4.19	178	75	明星	早稲田	東京
	水谷　和嘉	日新製鋼	1972.2.20	183	75	桑名西	名城大	三重
	満井　健康	本田技研	1970.5.3	185	78	瓊浦	中央大	長崎
	萩本　将勝	大同特殊鋼	1972.1.19	172	68	大分電波	国士館	大分
	中谷　友和	大同特殊鋼	1973.6.8	180	75	北陸	―	福井
	小沢　勝利	湧永製薬	1971.6.2	181	70	横浜商工	日体大	神奈川
	山口　修	湧永製薬	1972.2.28	192	86	西宮南	大体大	兵庫
	杉山　裕一	湧永製薬	1972.9.21	191	93	市岐阜商	―	岐阜
	森脇　清	大崎電気	1971.11.10	183	78	京都西	中部大	大阪
	小野　和正	大崎電気	1972.9.7	189	78	坂出工業	名城大	福岡
	大蔵　武義	トヨタ車体	1970.2.3	176	70	愛知	愛知学院	愛知
	保科　秀和	トクヤマ	1974.8.13	180	68	下松工業	―	山口
	甲斐田新太郎	トヨタ自動車	1973.4.21	185	75	久工大付	―	福岡
	辻　昇一	日本体育大	1973.5.10	182	75	学法石川	―	福島
	広政　宣孝	筑波大	1973.7.6	178	72	下松工業	―	山口
	茅場　清	日本体育大	1973.7.8	184	77	笠間	―	茨城
	池辺　健二	大阪体育大	1974.9.19	194	83	大分電波	―	大分
	森山　透	日本体育大	1974.8.6	172	65	熊本市商	―	熊本
	野村　広明	国士館大	1975.2.13	176	70	大分電波	―	熊本

関西運動記者クラブ表彰

田中美音子選手（大和銀行）が受賞

団体表彰は洛北高校(京都)女子チーム

関西運動記者クラブ・ハンドボール分科会は1994年度の表彰選手に、史上最年少で日本リーグで131点の得点王に輝いた田中美音子選手（21）を表彰した。

また団体は富山県インターハイで女子初優勝を果たした京都の洛北高校女子チームを選出した。


洛北高校女子チーム


田中選手

連載3

ミニハンドボール

ボール・アーカード／エリック・スコースガード共著　小西　博喜監修

3　テクニック〔その2〕

●習慣づけのための練習

▼個人練習

（練習14）

練習13と同様のことを床面の線に沿って、或は、円などのまわりを回って行う。

（練習15）

後ろ向きに歩く、または、走りながら、ボールを片手で床にバウンドさせる。

（練習16）

11から15の練習を組み合わせる。歩く、立ったままでいる、前後に走るなど。また、方向を変えながらボールを床にバウンドさせる。

（練習17）

連続的に両方の手でボールを床にバウンドさせる。できるだけ何回も方向を失わずに。始めは立ったままで、その後歩いて、最後は走って行う。

（練習18）

練習11～15を、弱い方の手で行う。

（練習19）

ボールをゆっくり前に投げる。ボールの後ろから走って行って、ボールをつかみ、投げる用意をする。

（練習20）

ボールを壁に向かって投げる。はね返らせて、両手でボールをキャッチし、片手で投げるフォームをする。

（練習21）

低い軌道で壁に向かってボールを投げ、床の上を転がってはね返るようにする。それを両手でキャッチし、片手で投げるフォームをする。

（練習22）


（練習14）


（練習17）


（練習15）

2人のプレイヤーが、互いに繰り返してボールを投げる。どんな捕り方でキャッチしてもよい。

(練習23)

練習22と同様のことを写真で写したように行う。(これが通常のハンドボールのパスである)

(練習24)

練習22と同様のことを、キャッチする時には、ボールを適切な握り方で握って行う。

(練習25)

練習22と同様のことを、投げるのも、キャッチするのも両手でふさわしい方法で行う。

(練習26)

練習22・23と同様のことを、投げる力の弱い手で投げる。

▼2人練習

(練習27)

【A—黒いシャツ、B—白いシャツ】

練習3と同様のことを、Bが座ってキャッチする。彼はボールがAの手を離れるまでは座ってはいけない。

(練習28)

【A—黒いシャツ、B—白いシャツ】

座った状態からAがボールを投げ(どんな方法でもよい)、Bが立ってキャッチする。そしてBは座って、Aに投げ返し、Aは立ってキャッチし、座って投げる。

(練習29)



(練習19)



(練習21、22)



(練習20)

【A—黒いパンツ、B—白いパンツ】

Aが、Bの頭の高さに届く位の強さでボールを床に投げつけ、Bが背伸びをしてキャッチする。Bが投げる。

(練習30)



(練習23)



(練習24)

練習29と同様のことを、腰の高さよりも下でキャッチし、前に述べた手の位置（手の平を下に向け）で握るようにボールをバウンドさせる。

（練習31）

Aは壁にボールを投げる。Bはリバウンドしたボールをキャッチする。Bが投げる。

（練習32）

Aは壁にボールを投げる。Bはリバウンドしたボールを、床に落ちる前にキャッチする。Bが投げる。

（練習33）

練習31、32と同様に、ボールが床ではねて、壁へ行くように投げる。

（練習34）

Aは低い軌道を描くように投げ、Bははね返ったものを反対向きの手で（手の平を上に向けて）キャッチする。

（練習35）

AとBは歩く速さで動きながら、互いにボールをバウンドさせる。2人の距離はおよそ約3m。（※1ヤード＝約0・9144m）

〈応用〉同じ練習を走りながら、技術の上達に従い走るスピードを上げる。

（練習36）



（練習28）



（練習27）



（練習32）



（練習29）



（練習33）



（練習30）



（練習34）



（練習31）



（練習35）

Aが通常のハンドボールパスでボールをBに投げる。そして、Bは同じ方法でボールを返す。2人の距離は約3・5m。

〈コメント〉パスは肩の高さに上げた腕で投げること。

（練習37）

AとBはおよそ約3m位離れて、床の上の円（または輪）の反対側に立つ。Aが投げるボールを円の中でバウンドさせてBに投げる。Bは同じ方法でAに投げる。

〈応用〉1．AとBの距離を変える。

2．投げる強さを変える。

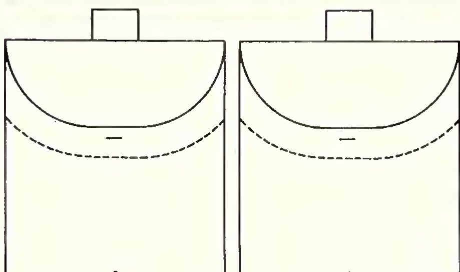
3．弱い方の手で投げる。



（練習36）



（練習37）



（練　応用）

フリースロー

日本スタイルを完成させよう

企画・広報委員　早川　文司

5年ぶりに出場した男子世界選手権で日本は予選リーグC組5戦全敗の最下位、念願の決勝トーナメント進出を阻まれた。同時にアトランタ・オリンピック出場の第一関門からも閉ざされてしまった。韓国が予選リーグ突破を果たしたのに比べ余りにも寂しい。

大会直前1カ月前のヨーロッパ遠征をこなし、万全の態勢で臨みはしたものの、改めて世界の厚い壁を痛感させられたわけだ。すった揉んだの末にようやく決まった代表強化への日本リーグ加盟チームの特別協力金という〝強力支援〟にも応えることは出来なかった。

各種の国際大会に出場することは、選手、監督にとって有形無形のプラスになることはいうまでもない。高度なプレーや戦術、レベル、各国の現状などがつぶさに偵察できる。今回の最大の敗因は何だったのか、早急に分析し出直し策を作る必要があるだろう。

最近の日本は大型選手を集め、確かに体格では欧米にひけをとらなくなった。しかし、それだけで対等に戦えると考えるのは早計だ。体力は、戦術・戦略は、これらがマッチしてこそ世界に太刀打ち出来る。かつて日本のお家芸だった早いパス回し、速攻だけでは機関銃のようなもの。だけども、その伝統も生かすことも忘れてはなるまい。

それには日本人しか持たない起用さなど特徴を取り入れた「日本スタイル」のハンドボールを作り上げることだ。先進国との対戦で修羅場の厳しさを体験し、ずる賢いプレーを学び、そこから鍛え抜かれた技術で日本人にしか出来ないチーム、独自のスタイルを完成させるのだ。

アトランタへの最終関門は9月のアジア予選。オリンピック出場は国民へでっかい夢のプレゼントだ。ハンドボールの関心を高め、発展には欠かせない手段である。とりあえず7月の国際親善試合で好成績を挙げ、9月の五輪キップ獲得に力を合わせて〝やるっきゃない〟——。

97男子世界選手権大会（熊本）だより

意欲を持たせてくれた第14回大会

組織委員会熊本事務局


熊本コーナーでの福島知事と馬場県会議員（右）

1997年に熊本で開催される男子世界選手権大会の直前大会である第14回大会がアイスランドで5月7日から21日まで開催された。そこで、組織委員会及び熊本実行委員会では、熊本大会を開催するうえで、大会の運営調査、またPRの機会として、渡邊日本協会副会長、福島熊本県知事、三角熊本市長をはじめ、各委員及び事務局員、メディア関係者を前半、後半に分けてアイスランドに派遣を行った。

アイスランドと日本との時差は9時間。日没は夜の11時。明朝4時の日の出までの短い薄明かりの夜は、まさに北極、白夜の国である。国土は日本の3分の1の広さに26万人の人口と国土の大部分が溶岩と氷河に覆われたアイスランドでは、ハンドボールが国技であり、サッカーと並ぶ人気スポーツであり、ヨーロッパ各地でアイスランド出身の選手が活躍しているとのことである。

詳細については、現在、取りまとめ中であるが、印象に残った点を簡単に報告する。

■大会の雰囲気

大会は首都のレイキャビックをメイン会場にとして、近郊のコッパボーグル、ハフナフィヨルドさらにレイキャビックから飛行機で50分のアクレイリの4会場での開催であった。

大会のオープニングは、地元アイスランドチームの試合の前にセレモニーが行われ、決して派手さはないが、とてもスマートで日本風の式典とは一味違ったものであった。

オープニングゲームでは、地元アイスランドチームが圧勝し、場内の超満員の大観衆は興奮の渦に包み込まれ、さすがにハンドボールが国技というお国柄を思わせた。この他、試合内容の集計にはコンピュータの活用がされ、ハーフタイムには前半のゲーム内容の速報が関係者に対し、配布されるという迅速さには驚かされた。

■熊本コーナーの設置

次回の熊本大会のPRとして、メイン会場の入り口正面のロビーには日本・熊本コーナーを設置し、ポスター、パンフレット、シール等の配布やビデオの放映を行った。会場に訪れた観客や選手、役員、報道関係者にも関心を持っていただき、有意義なものであったと思う。今後とも熊本大会のPRのため諸外国に対し、継続的な情報提供が必要であると感じた。

■全体の感想

最も印象に残ったことは「観客の目」のすばらしさであった。すばらしいプレーへの歓声はもちろん、緩慢なプレーや曖昧なジャッジに対するブーイング等、観客の的確な反応は、26万人という少ない人口の国でありながら、世界選手権大会を開催するだけの素地があると感じた。

このような雰囲気をこれから2年間でどのようにして作っていくかが大きな課題であると思う。日本協会の皆さんと連携し、ハンドボール競技、世界のスーパープレーの魅力、すばらしさを全国に伝えていく取り組みが必要であろう。

最後に、今回のアイスランド大会の調査では、大会期間中全体を通して活躍いただいた日本ハンドボール協会関係者の皆さんに感謝申し上げる。

今後、熊本の大会に向け、今回の大会調査を十分に生かしながら、初めて本場ヨーロッパを離れて開催する意義深い世界選手権大会の準備にあたらなければならないという責任を改めて痛感した。

平成7年度ナショナル選手

男子	監督 蒲生 晴明 (財)日本ハンドボール協会 1954.4.5 コーチ 田口 隆 本田技研工業 1961.7.23 コーチ 関 健三 三陽商会 1955.1.24

選手	氏名	所属	生年月日	身長	体重	出身高校	出身大学	出身地
GK	橋本 行弘	本田技研	1965.9.17	186	81	岡崎城西	—	愛知県
	林 康一	大同特殊鋼	1967.3.3	181	78	九州産業	福岡大	福岡県
	井上 耕一	中村荷役	1967.10.4	184	83	川崎北	東海大	神奈川
CP	田中 雅彦	湧永製薬	1968.9.21	184	82	久工大付	福岡大	福岡県
	冨本 栄次	大同特殊鋼	1971.10.18	182	75	日体荏原	日体大	神奈川
	末岡 政広	大同特殊鋼	1967.9.1	177	77	瓊浦	福岡大	長崎県
	田中 茂	三陽商会	1967.9.2	182	79	瓊浦	筑波大	長崎県
	堀田 敬章	湧永製薬	1964.10.22	171	73	岐阜商業	日本大	岐阜県
	魚住 和彦	大崎電気	1966.10.24	188	80	東海大二	東海大	熊本県
	佐藤壮一郎	大同特殊鋼	1969.8.7	178	73	日体荏原	日体大	東京都
	渡辺 浩	三陽商会	1967.10.20	183	74	武蔵村山東	日本大	東京都
	三輪 澄高	トヨタ自動車	1968.1.31	188	85	中京	同志社	愛知県
	中山 剛	湧永製薬	1969.7.4	191	87	久工大付	福岡大	福岡県
	森本 彰宏	大崎電気	1970.12.23	182	80	北陽	大体大	大阪府
	木浪 達文	中村荷役	1971.10.30	188	85	青森商業	国士館	青森県
	岩本 真典	三陽商会	1970.9.28	200	88	熊本市商	早稲田	熊本県
	藤井 孝志	大同特殊鋼	1969.7.27	189	86	高岡向陵	筑波大	富山県
	高木 浩司	中村荷役	1967.9.7	182	73	明石北	日体大	兵庫県
	高田 浩志	湧永製薬	1970.2.10	180	76	九州学院	東和大	熊本県
	永山 強	大崎電気	1971.9.9	178	75	浦和実業	順天堂	埼玉県

女子	監督 樫塚 正一 武庫川女子大 1944.7.16 コーチ 西窪 勝広 オムロン 1954.7.22 コーチ 高野 亮 東京女子体大 1943.8.11

選手	氏名	所属	生年月日	身長	体重	出身高校	出身大学	出身地
GK	村山みどり	シャトレーゼ	1969.1.9	177	69	名短大付	東女体大	愛知県
	今野 清美	大崎電気	1970.12.8	172	69	聖和学園	東女体大	宮城県
	安田真由美	日本体育大	1974.2.19	173	78	郡山女子	—	福島県
	松尾 香代	ジャスコ	1972.4.13	171	58	初芝	大阪体大	大阪府
CP	古田 千明	オムロン	1969.5.30	154	55	コザ	—	沖縄県
	石村 智江	オムロン	1967.7.31	168	67	岩国商業	—	山口県
	谷本 泉	北国銀行	1970.6.5	163	58	小松市立	—	石川県
	西村 聖子	オムロン	1970.10.14	174	67	四天王子	武庫川女	大阪府
	会田 陽子	シャトレーゼ	1971.4.9	165	60	名短大付	—	愛知県
	大林 まり	北国銀行	1971.11.2	159	50	夙川学院	武庫川女	兵庫県
	田村 啓子	オムロン	1972.9.29	166	60	華陵	武庫川女	山口県
	山形 雪子	ジャスコ	1972.11.20	160	52	初芝	大阪体大	大阪府
	上出恵美子	北国銀行	1973.5.17	168	60	小松商業	—	石川県
	松本 恵美	日立栃木	1973.7.6	172	70	國學院栃木	—	栃木県
	稲次 彩	筑波大	1973.9.8	165	60	宣真	—	大阪府
	森川 直子	ブラザー工業	1973.12.16	167	66	氷見	—	富山県
	荒川 裕子	大和銀行	1973.4.25	172	70	宣真	—	岡山県
	小貫佳代子	日本体育大	1974.1.15	168	62	麻生	—	茨城県
	神津 奈美	東京女子体大	1974.1.29	168	65	群女短大付	—	群馬県
	山川 由加	ブラザー工業	1974.5.29	167	60	名短大付	—	愛知県
	中山 朋美	日立栃木	1974.4.9	162	57	四天王寺	—	大阪府
	後藤 園	日本体育大	1974.7.21	173	74	日川	—	山梨県
	田中美音子	大和銀行	1975.1.14	158	57	四天王寺	—	大阪府
	児島 愛	東京女子体大	1975.11.14	167	58	名短大付	—	愛知県
	田中美代子	北国銀行	1975.1.19	167	67	小松商業	—	石川県

私のチームづくり

選手との対話で指導法を

帝京平成短期大学　川上　整司



随分古い話ですが、すっかり色あせてしまったが高校チームの監督としてインターハイ、国体、選抜大会と、それぞれ優勝するまでに少しばかりの努力と創造性をもって進んだ一部を紹介したいと思う。

私は大学時代にハンドボールの選手としてプレーした経験はない。小学3年生から野球を始め、中学も野球で明け暮れ、高校は陸上競技に熱中。その暇にチームを創り出場した県のハンドボール大会で味を染め、興味を持ったのが始めるきっかけだった。大学時代は、もっぱら試合を見たり、ハンドボール書を繙く、正に独学でハンドを学んだ。夢は高校教師になり強力なチーム創りとオリンピック選手を養成することだった。

昭和37年に高校の教員になり、まず考えたことは哲学を持たなければ選手はついてこない。それにはまず歴史上、また現代に於ける指導者について調べてみた。特に人を集める能力のある政治家の著書に目をとおす必要性を感じ、練習の帰りには書店通いだった。勿論、スポーツ書も欠かすことは出来ない。プロ野球、全ての球技から宮本武蔵の五輪書まで（球技論の稲垣先生に進められたクラウゼヴィッツの戦争論はいまだ途中である）大いに参考にした。また人の心を描いている文学書も、心を和らげるために猛練習の合間や遠征などには欠かせないひとつだった。

高校生もミーティングでハンドの話だけでは聞いてくれない。少し程度の高い生徒になると他のことをハンドに引用させないと納得しない者も必ずいる。そんな時に備えておく必要もあったからである。勿論、ハンドボールの試合も徹底して見た。実業団の試合、関東大学リーグ戦など、大きな試合は全て見たつもりだ。その頃、自分ほどゲームを見ている監督は他にいないと内心だが自負していた。芝工大の近森、立大の中根、野田、木野、東選手らのステップ・パス・シュートなどを参考にして、自分なりにアレンジしながら選手の個性にあった技を思考し、実践に役立てた。

指導にあたり選手の心を掴む法と勝負の原点の探究と、そして何よりハンドの理論武装をするために練習以外の時間が忙しい毎日だった。他種目の優れた監督たちの言葉にも耳を傾けた。ある時は、自分の性格が監督に向いていないと思い込み、変える努力をしたのも監督初期の頃である。しかし、このことは失敗で、自分そのものを全面に出して掌握しようとしなければ選手はついてこない。指導法を模索する段階で気付いた。これも体験からである。

選手に対しては、まず一人一人の性格を掴むことが先決で、練習終了後に残っている1年生とよく対話をした。父親について、また家族や友人、趣味など、それとなく聞き出し、ある程度の考え方を最初にとらえ、それを基に部活と授業中、クラス内の行動についてまで調べながら指導法を考えた。

ある時は危険な手段をとったこともある。トレーニング器具なども、いろいろと工夫を凝らして創ってみた。パスコントロール板やフットワーク用の器具、それに今メディシンボールと言っているが、私が昭和42年に冬期練習に使うためにミカサボールの田中氏に無理にお願いして作って頂いたのが最初である。

強化するには、どのチームも方法に大差はないと思うが、私は精神面、やる気を起こさせる雰囲気創りと成長過程に於ける段階的技術に重点をおいた。また練習方法の一つとして、試合の中で展開する得点につながるパターンを部分的に取り出して練習することの大切さを感じ、年によって異なるが選手の特徴を考慮して練習方法を決め、そのために費やす時間を長くした。いずれにしても全てに試行錯誤を繰り返しながら、全国大会の決勝を7回、修羅場を体験して始めて理解出来た部分もあり、監督も練習、試合を経験することによって成長するものであると思う。

列島縦断①

松ヤニの効用

広島県ハンドボール協会
理事長　西元　義昭

　平成7年3月、東昌弘理事長の転勤に伴う辞任により、2年間、理事長を引き受けることとなった。2年前、大学の後輩である畑和志事務局長の自チームを強くしたいとの要望により事務局を引き継いだこともあり、この事に関して余りてらいも気負いもなく淡々としている。さりとて平々凡々何もしないわけにもいかないだろうと、以前よりのハンドボールへの思いを会員の皆さんの賛同を得ながら目標として少しでも成し得ればと考えている。

　まず第一に、選手の皆さんに一番よい環境・条件下でゲーム（大会）をやっていただきたい。これは特別なことを除き、体育館で行うことである。いろいろ意見はあろうが、選手の目標管理（体調管理）が可能なことと、大会運営上ロスがないという利点である。

　次は、体育館では松ヤニを使用することを推進したい。これは良い環境・良い条件というよりは普通の事と考えたい。多くの人達に聞いてみると、松ヤニを使えないのは日本だけだとのこと。わが国のハンドボールは後進国のそれだとのそしりを受けても致し方ないと思う。なぜこだわるかといえば、今年の日本リーグ広島大会でシャトレーゼの李総監督と話をする機会を得た。彼は年々日本リーグの観客が減っている。それはチームサイドから言うと、高度なプレーを見せることが出来ない。それが観客に失望感を与えている。これは松ヤニの使用禁止が大きな起因である。それと日本（オールジャパン）は強くなりたいと願いハードな練習を行っているが、ボールコントロールを自在にするために松ヤニ使用可の他の国に対し、オールジャパンの選手達が出場するビッグ大会でも松ヤニの使用を禁止する体育館すらある日本にとっては、すでに大きなハンディを背負っていると熱っぽく語ってくれた。さらに我が県のイズミチームの林（イム）選手も来日当初は松ヤニの使えないハンドボールの試合は初めての経験で、ハンドボールではないような気がすると言っていたが、最近ではミスが出ると言いながらも両面テープを用いて懸命に試合をしている。また日新製鋼の西山監督、湧永製薬の酒巻監督もせめてスプレーをとのことである。他にも多くの選手に意見を聞いたが、異口同音に松ヤニを使えないことの不服を耳にする。体育館のフロアに坐り込んで選手たちが両面テープを指に巻いている姿を見ると、大会関係者としての無力さと悲しさを感じる。幸いにも、広島市にある体育館は関係者の英断により清掃の条件はあるものの松ヤニを使うことが許されている。県内の他の市町村の体育館の幾つかには難色を示されているとのことであるが、我々はハンドボール関係者のみならず、あらゆる人々に英知を傾注していただき解決したいと思っている。


西元義昭氏

　しかしながら、協会運営には、体育館使用料・清掃費のみならず強化・普及・会議等々の多額の資金を必要とする。私は役員の任務の半分位は資金集めにあると思っている。幸運なことに、当県の山下会長は昨年まで日本協会の常務理事として財務を担当され充分な成果を上げられたと聞いている。会長の指導の下、努力を重ね、必要な資金を集め、良い環境・良い条件の大会のみならず、強化・普及等々素晴らしい協会に近づけるために一歩一歩努力したい。

審判委員会インフォメーション

ルールに関する疑問

Q　私はハンドボールは未経験でまったくの素人ですが、ある高校で顧問（監督）をしていますが、ハンドボールにとり憑かれ夢中で生徒とともにやっています。ルールの勉強もやっていますが、ルールブックを読んでもなかなか理解できません。機関誌にこんな欄があるのを知りました。機会があれば私の質問に答えてください。

先日の試合で、No.５の選手が遅刻で会場に来ていなかったが、メンバー表に記入して出したところ、ゲーム開始前のメンバーチェックで、レフェリーからNo.５はこの場にいないので、抹消するように言われ、消しました。まもなくNo.５は来ましたが、彼には「遅刻したので試合には出られない」と注意して、試合には出さず幸い勝つことが出来ました。しかし、なにか割り切れずに家へ帰ってルールブックを見たら、４―３に「競技開始後、遅れて到着したプレーヤー・チーム役員はタイムキーパー・スコアラーにより参加資格の承認を受け……」と書いてありました。そこで今回の件もNo.５はメンバー表に記入しておき、本人が到着したら、記録席で本人である旨、確認を取れば、その後試合に出られるのではないでしょうか？　私は素人のためルールがわかりませんが、文面ではこのようになると思いますが、如何でしょうか。

A　まったくその通りで、誠に申し訳ありません。レフェリーの勘違いであろうと思います。このようなことで不審に感じたときは近くの役員の先生に遠慮なくお聞き下さい。また、今後このようなことが起きないようにあなたの県の高体連審判長に通達を出したいのですが、あなたの住所も県もまったく分かりません。

この欄へのご質問には氏名を出しませんので、匿名でなくお寄せ下さい。機関誌に載せられない場合も、責任ある回答を致します。

カラー審判着について

世の中はレフェリーの服装（審判着）は、カラー化の時代になってまいりました。ハンドボール競技もルールでは、黒色をレフェリーだけの色である、と規定されているだけで他の色の審判着を着てはならないとは書かれておりません。世界も確実にカラー化の方向に向かっておりますが、㈶日本ハンドボール協会審判委員会では、この事については、いくつかの問題点もあり、慎重に対処しております。

６月中旬にはＩＨＦトレーナー・チーフレフェリー・シンポジウムが開催されました。この辺りで世界の動向を見極めながら結論を出したいと思います。それまで、暫定的な処置として下記のように致しますのでご理解、ご協力をお願い申し上げます。

記

カラー審判着の暫定的処置

１　ハンドボール競技の審判着は黒色の審判着が基本である。

２　対戦チームのユニフォームと区別がつけば、カラー審判着を着用しても差し支えない。(但し、複数コートがある大会等は、審判着の色がコート毎に違うのは好ましくない)

☆次のものは審判着として認めない。

ペア・レフェリーが同色・同一デザインのものを着ていても、それがＴシャツであったり、ポロシャツ（？）等は審判着として認めない。

審判委員会委員長　大塚　文雄

GUIDE

第38回全日本教職員選手権大会
（第51回国民体育大会リハーサル大会）

期　日　平成７年８月９日㈬～13日㈰
会　場　男子の部
広島市佐伯区スポーツセンター大体育室／広島工業大学鶴記念体育館／広島市美鈴が丘高校体育館
女子の部
湧永満之記念体育館／甲立多目的広場／千代田スポーツパーク第一体育館
諸会議等日程
審判会議　８月８日㈫13時：広島サンプラザ
理事会　８月８日㈫13時30分：広島サンプラザ
指導者研修会　８月８日㈫14時30分：広島サンプラザ
代表者会議　８月８日㈫15時30分：広島サンプラザ
評議員会　８月８日㈫16時30分：広島サンプラザ

第22回全国高等専門学校選手権大会

期　日　平成７年８月３日㈭～４日㈮
会　場　大阪府立体育会館
組合せ　組合せ抽選は７月25日㈫大会実行委員会において行う。
開会式　８月３日㈭午前９時30分：大阪府立体育会館

高松宮賜杯第46回全日本高等学校選手権大会
（平成７年度全国高等学校総合体育大会）

期　日　開会式：平成７年８月１日㈫17時～
競　技：平成７年８月２日㈬～７日㈪
閉会式：平成７年８月７日㈪競技終了後
会　場　開会式：水島緑地福田公園体育館（倉敷市営中央体育館）
競　技：岡山県立倉敷青陵高校／水島緑地福田公園体育館
閉会式：水島緑地福田公園体育館
競技日程　８月２日　男女１回戦（倉敷青陵高校）
８月３日　男女２回戦（倉敷青陵高校）
８月４日　男女３回戦（倉敷青陵高校）
８月５日　男女準々決勝（倉敷青陵高校）
８月６日　男女準決勝（水島緑地福田公園体育館）
８月７日　男女決勝（水島緑地福田公園体育館）

読者の声



気になる会場の雰囲気

㈳日本プロサッカーリーグ（Ｊリーグ）　堀　美和子

ハンドボールを卒業して３年たちました。仕事にも馴れ、一段落したところで簡単なレポートを送ります。

私は発足準備からＪリーグの事務局で仕事をしています。Ｊリーグの華々しい活躍に比して、ハンドボールの低調が気にかかります。サッカーもワールドカップ２００２年招致に努力していますが、１９９７年世界選手権熊本開催は是非とも成功させたい行事であり、期待しています。

昨年末には母校の応援に全日本総合に、今年はプレーオフを観戦に行きました。Ｊリーグに携わっている私には、どうも会場の雰囲気が気になります。Ｊリーグが緑濃い芝生を条件にしたように、コートをカラフルにすることはできませんか？サポーターの熱狂的な応援はサッカーだけでしょうか。選手が淡々とプレーをしているようですが、思い違いでしょうか。

Ｊリーグ事務局には、マスコミ関係者が詰めれるスペースがあります。マスコミ各紙にハンドボールとサッカーが大きく並んで取り上げられる日が来ることを待ち望んでいます。

●本誌前号で掲載した「都道府県協会・ブロック協会および各連盟役員」で未決定の役員が、次の通り決定しておりますのでお知らせします。（敬称略）

▽東京都協会
理事長　福本　弘
評議員　滝口　三郎
▽神奈川県協会
評議員　森川　利昭
▽新潟県協会
評議員　寺崎　修
▽徳島県協会
会　長　柴田　嘉之
▽宮崎県協会
会　長　坂本　平
理事長　宮元　章次
評議員　坂本　平

●本誌前号「賛助会員紹介」の記事で未記載および誤記載がありました。深くお詫び申し上げます。（敬称略）

▽未記載
▼広島県　伊藤　剛／黒川正明／槙岡辰男／弘田　昇／湯中　勝
▽誤記載
▼広島県
槙場　英明→槙場　英昭
山高　信行→山高　正彦
荒谷　辰男→荒谷　拓三
泉　喜久子→泉　喜久男

（財）日本ハンドボール協会編
『ハンドボール』
第三五四号
昭和四十年六月七日 第三種郵便物認可
平成七年六月二十六日 印刷
平成七年七月一日 発行
東京都渋谷区神南一ー一ー一
電話 代表 三四八一ー二三六一
振替 ○○一二○ー七ー一○二九三
編集兼発行人 中澤重夫
定価三百五拾円